



2012 OUR COMMUNITY

わたしたちの コミュニティ



わたしたちのコミュニティ
[平成24年3月発行]

◎発行
周南市コミュニティ推進連絡協議会
(財)周南市ふるさと振興財団
周南市

◎お問い合わせ
周南市地域振興部コミュニティ推進課
〒745-0045 周南市徳山港町1番1号
TEL.0834-22-8412 FAX.0834-22-8357
E-mail.kyodo@city.shunan.lg.jp

(財)周南市ふるさと振興財団
〒745-0034 周南市御幸通2丁目28番地
TEL.0834-33-7701 FAX.0834-31-3655
E-mail.furusato@gokan-furusato.org





「コミュニティ」とは？

自分たちが住んでいる地域について、みんなで考え、
 みんなで行動することによってつくりあげる、
 豊かで住みよい地域社会のことです。

目次

Index

02	対談 周南市コミュニティ推進連絡協議会会長と周南市長	
04	周南市コミュニティ推進連絡協議会概要	
04	組織図・位置図	
05	規約・事業紹介	
06	特集 [周南市コミュニティ交流集会開催地区の取り組み]	
06	久米地区 [地区総参加で地区全体を歩く]	
07	大道理地区 [都会の人たちに住んで欲しい]	
08	桜木地区 [ふるさとの山を護りたい]	
10	各地区コミュニティ紹介	
10	徳山小学校区コミュニティ推進協議会	42 戸田地区コミュニティ推進協議会
12	遠石地区コミュニティ推進協議会	44 夜市地区コミュニティ推進協議会
14	岐山地区コミュニティ推進協議会	46 大津島地区コミュニティ推進協議会
16	今宿地区コミュニティ推進協議会	48 住みよい菊川をつくる会
18	桜木地区コミュニティ推進協議会	50 福川地区コミュニティ推進協議会
20	周陽地区コミュニティ推進協議会	52 富田東地区まちづくり協議会
22	秋月地区コミュニティ推進協議会	54 富田西地区コミュニティ推進協議会
24	鼓南地区コミュニティ推進協議会	56 大道理をよくする会
26	櫛浜地区コミュニティ推進協議会	58 大向コミュニティ推進連絡協議会
28	久米地区コミュニティ推進協議会	60 明るく元気な鹿野をつくる会
30	大河内地区コミュニティ推進協議会	62 和田の里づくり推進協議会
32	高水地区まちづくり推進協議会	64 住みよい長穂をつくる協議会
34	“ほっと三丘”コミュニティ協議会	66 須々万地区まちづくり推進協議会
36	勝間コミュニティ推進協議会	68 中須をよりよくする会
38	鶴里コミュニティ協議会	70 生きがいのある須金をつくる会
40	湯野地区コミュニティ協議会	
72	ふるさと応援隊	
74	(財)周南市ふるさと振興財団概要 [周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局]	



対談

小田会長と木村市長

～コミュニティへの想い～について語る

周南市を彩る コミュニティ



市長 最初に国があって、その下に県や市があって、その下にコミュニティがあるというふうには思っていない。まず、地域があって、そこで、皆さんが生き生きと活動して、それをつないでいくのがコミュニティや市であって、市や県が集まって国が出来ていると思います。つまり、まちづくりの原点は地域だと考えています。平成15年に周南市は合併し、大きな市になりました。この広大な周南市を一つの色にくることはできません。やはり地域にはそれぞれの歴史、伝統文化が色づいており、海、山、里、街にしても、様々な特色を持っています。そうした多様な環境の中で、各地区コミュニティこそが、色とりどりの花びらとなり、ひとつの周南市を鮮やかに彩ってくれていると思っています。

コミュニティは オーケストラ



会長 私はよくコミュニティをオーケストラに例えます。オーケストラは指揮者がすごいと音色が全部違ってきます。指揮者によっては、日頃以上に自分の力が出るそうです。それぞれの地域には、優秀な人材や団体がたくさんおられるわけですが、それを取りまとめる会長というのは、オーケストラの指揮者だろうと思うのです。オーケストラは、指揮者のタクトの振り方ひとつによって、名演奏にもなり、悪くもなります。コミュニティも同じで、指導者は素晴らしい力を持っておる個人や各団体の特色をいかに引き出し、素晴らしい音色を地域に響かせることがとても大切だと思います。だから、私はコミュニティの指導者というのは、しっかりと方針をもって、自分を出すのではなく、皆さんの力をどう引き出して地域をつくるかということを考えることが重要だと思います。

コミュニティへの 想い



市長 私は地域でがんばる、地域で活躍することができるのがとても素晴らしいことだと思います。一人ひとりが、自分が住んでいる場所で、いつまでも生き生きと活躍することができ、それが笑顔の絶えないまちづくりへとつながっていく…。そんな周南市を、私はつくっていきたいと思っています。そのために必要な「地域の人材」、「地域の資源」、そしてコミュニティの果たす役割…。その大切さを今日、小田会長とお話をするなかで、また一段と認識を新たにしました次第です。

これからの コミュニティ



会長 東日本の大震災で、「絆」が大きな取り上げられ方をしていましたが、これはきわめて当たり前のことだと思います。人は、一人では生きていくことはできないし、一人ひとりの人間はまず家族というものがある、その次にご近所がある…。そのような人と人のつながりが日々の幸せな暮らしを支えていると思います。コミュニティの中で自治会組織がしっかりと核になって、各団体と連携を取りながら、行政との協働の歩みを進めていく必要があると私は考えます。

「“もやい”のまちづくり」



市長 普段、自分たちが暮らしている地域は自分たちがつくっていかねばならず、これからのコミュニティは自助、共助、それから“もやい”によるまちづくりをより一層進めていかねばならないと思います。行政としても、持続可能な地域づくりのためにしっかり力を入れていきたいと思ひますし、ぜひ、コミュニティの中で、一人ひとりの市民が生き生きと輝き続けてほしいと思っています。

PROFILE

市長



木村 健一郎

きむら・けんいちろう
昭和27年旧徳山市生まれ
早稲田大学法学部卒業後、司法書士・行政書士・土地家屋調査士を開業
平成15年4月に山口県議会議員に初当選
平成23年5月より第3代周南市長

会長



小田 敏雄

おだ・としお
大正15年旧徳山市生まれ
昭和56年に須々万地区まちづくり推進協議会会長に就任
同年より旧徳山市コミュニティ推進連絡協議会の役員を歴任
平成19年6月より周南市コミュニティ推進連絡協議会会長

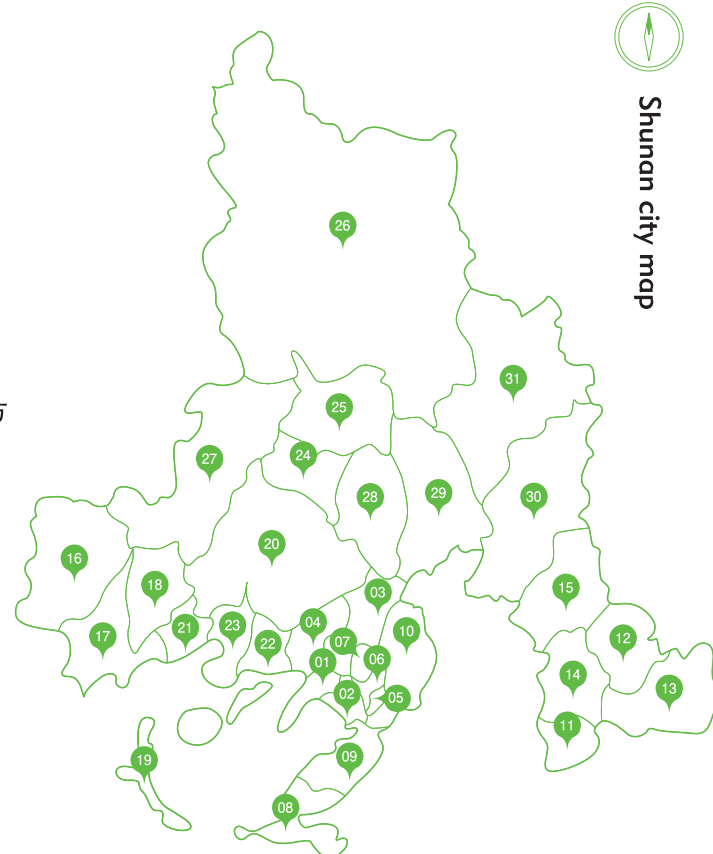
周南市コミュニティ推進連絡協議会組織図

中央部	東部	西部	北部
徳山小学校区コミュニティ推進協議会	鼓南地区コミュニティ推進協議会	湯野地区コミュニティ協議会	大道理をよくする会
遠石地区コミュニティ推進協議会	櫛浜地区コミュニティ推進協議会	戸田地区コミュニティ推進協議会	大向コミュニティ推進連絡協議会
岐山地区コミュニティ推進協議会	久米地区コミュニティ推進協議会	夜市地区コミュニティ推進協議会	明るく元気な鹿野をつくる会
今宿地区コミュニティ推進協議会	大河内地区コミュニティ推進協議会	大津島地区コミュニティ推進協議会	和田の里づくり推進協議会
桜木地区コミュニティ推進協議会	高水地区まちづくり推進協議会	住みよい菊川をつくる会	住みよい長穂をつくる協議会
周陽地区コミュニティ推進協議会	“ほっと三丘”コミュニティ協議会	福川地区コミュニティ推進協議会	須々万地区まちづくり推進協議会
秋月地区コミュニティ推進協議会	勝間コミュニティ推進協議会	富田東地区まちづくり協議会	中須をよりよくする会
	鶴里コミュニティ協議会	富田西地区コミュニティ推進協議会	生きがいのある須金をつくる会

位置図

Location

- 01 徳山小学校区
- 02 遠石
- 03 岐山
- 04 今宿
- 05 桜木
- 06 周陽
- 07 秋月
- 08 鼓南
- 09 櫛浜
- 10 久米
- 11 大河内
- 12 高水
- 13 三丘
- 14 勝間
- 15 八代
- 16 湯野
- 17 戸田
- 18 夜市
- 19 大津島
- 20 菊川
- 21 福川
- 22 富田東
- 23 富田西
- 24 大道理
- 25 大向
- 26 鹿野
- 27 和田
- 28 長穂
- 29 須々万
- 30 中須
- 31 須金



周南市コミュニティ推進連絡協議会規約

- (名称) 第1条 この協議会は、周南市コミュニティ推進連絡協議会（以下「協議会」という。）と称する。
- (目的) 第2条 この協議会は、各コミュニティ組織相互間における情報の交換、研修活動、その他必要と認める事業を行うことを目的とする。
- (構成) 第3条 この協議会は、各地区に設置されているコミュニティの推進組織の会長をもって構成する。
- (事業) 第4条 この協議会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。
 (1) 全市的なコミュニティ活動の推進に関すること。
 (2) 各種の調査活動及び情報の交換に関すること。
 (3) コミュニティづくりのための講演会、研修会の開催に関すること。
 (4) その他、目的達成のために必要な事業に関すること。
- (役員) 第5条 この協議会に次の役員をおく。
 会長 1名 副会長 3名 理事 若干名 監事 2名 顧問 若干名
 2. 役員は協議会で選出する。
 3. 役員は任期は2年とする。
 4. 役員は補充によって就任する役員は、前任者の残任期間とする。
- (役員職務) 第6条 会長は会務を統轄し、協議会を代表する。
 2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
 3. 監事は、協議会の会計を監査する。
 4. 顧問は協議会の相談に応じ、意見を述べることができる。
- (会議) 第7条 会議は、会長が必要に応じて召集し、会長が議長となる。
- (事務局) 第8条 この協議会の事務局は、財団法人周南市ふるさと振興財団内におく。
- (会計) 第9条 この協議会の経費は、寄附金、補助金、その他の収入をもってあてる。
- (会計年度) 第10条 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。
- (その他) 第11条 その他この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。
- (附則) 1 この規約は、平成19年6月1日から施行する。
 2 この規約による役員最初の任期は、第5条第3項の規定にかかわらず、平成19年6月1日から平成21年3月31日までとする。

周南市コミュニティ推進連絡協議会事業



実施月を入れていますが、年度により変更があります。

地区総参加で地区全体を歩く



ふるさと夏祭り 街中を神輿がまわる



久米地区コミュニティ推進協議会

私 達の町久米地区は南北に細長い地形に（面積 15.47km²）人口約 9,000 人の方々と 44 の単位自治会により元気に活動しております。また、ほぼ地区の中心に徳山東 IC が所在しており、そこに依拠するコミュニティ組織は、結成されて 30 年になりました。結成以来、素晴らしいリーダーとそれを支える人達によって、いくつかの特徴ある組織に育ってきました。その一は、各自治会単位に、コミュニティ推進委員を選出いただき、地区の代表として事業計画等に参加していただいております。その推進委員が、各種活動を推進する実働部隊や応援隊として機能していることです。その二は、コミュニティ組織を支える要の事務局（各構成組織から事務局員を選出し参画している人を含めて 12 名）がチームワークを大切に創意を尽くし、随時機動的にその役割を發揮していることです。その三は、コミュニティ活動の基本財源は各自治会から、会員一戸当たり 200 円/年を会費としていただいているところです。その四は、今年で 32 回を迎えた「ふるさと夏祭り」の諸経費総てを地域の人達や地元の中小の企業様からいただく善意の寄付等によって毎年趣向を凝らした夏祭りを開催しております。その夏祭りは久米地区の各自治会子供会単位がリレー式に続いて、久米神社を出発して北回りコース・南回りコースで全地区を子供神輿が巡行練り歩きます。このような広い地域を練り歩き地区総参加を展開しておりますのが特徴的な取り組みではないかと思っております。



ふるさと夏祭り ステージイベントの様子



コミュニティ推進協議会総会



久米地区コミュニティ推進協議会のメンバー

都会の人たちに住んで欲しい



芝桜祭り



大道理をよくする会

市 内から車で 20 分ほどで私どもの住む大道理地区があります。標高 300メートルあり、空気もきれいだし、四季を通じて快適な地域です。今年度から子どもの減少により小学生は沼城小学校へ通学し大道理小学校は休校となっています。今、地区住民が一丸となり地域活性化に取り組んでいます。労力の軽減目的で行なった芝桜植栽は、現在 1 万平米の畦畔に 4 月から 5 月に開花、多くの人が訪れています。又、大道理住民の癒しの場として整備した魚切りの滝は、市内から近い所にあり市民の憩いの場にする為、整備に奮闘しています。6 月には小川に数万の自然の源氏ほたるの乱舞が見られ、初旬に、ほたる鑑賞の夕べを行なっています。秋にはルーラルフェスタにあわせ、「元気大道理ふるさと祭り」を開催しています。過疎化対策として、都会の人に大道理に住んで頂くための、空き家や農地を斡旋するため、里の案内人制度も実施しています。（田舎暮らし居住体験住宅もあります）



魚切の滝



瀬戸兼の滝



河川一斉清掃の様子



元気大道理ふるさと祭り

ふるさとの山を護りたい



とおの山創生事業メンバー



桜木地区コミュニティ
推進協議会

桜木地区には、“ふるさとの山”として諸先輩から受け継いだ「とおの山」があります。とおの山は、平成元年から平成3年までの3年間をかけ、当時のふるさと創生事業資金を基に【老人クラブ】の方々を中心に「ふるさと創生事業」として整備された“ふるさとの山”です。以来、毎年6月と11月の2回、登山道及び山頂の草刈等の整備を実施してきました。しかし、20年の歳月がたち、近年の大雨の影響もあり山道は荒れ、また、山頂付近の樹木は生い茂り、山頂からの眺望も損なわれ、訪れる人々から改善要望が数多く寄せられていました。そんな時、【僕にはふるさとがない】と悲しそうにつぶやいたと言う児童の話の思い出し、地域の有志が立ち上がり「第2期ふるさと創生事業」が始まりました。今後、文化や歴史、観光と創生事業を発展して行く予定です。その一つが「とおの山」です。

この事業の目指すもの

南北朝時代に大きく関わり「夜泣き石」の伝説を残す「とおの山」や新しい団地造成で消え行く、郷土の歴史や文化を大切に、郷土を愛する「夢と希望とロマンのある、心豊かな地域社会」の構築及び歴史資源を活用し「歴史の町」として地域の活性化を図る。

諸先輩の熱い情熱と3年にも及ぶ血のにじむような努力により整備されてきた「とおの山」を、誇りを持って“ふるさとの山”として次の世代に引き継ぎたい。そして、その人たちから、又、次の世代へと引き継がれることを願って。



夜泣き石



とおの山登山事前準備の様子



とおの山整備作業



地区

コミュニティ紹介

徳山小学校区

とくやましょうがっこうく



上・見玉源太郎像 下・さくらのトンネル



○さくら街道祭



○玉ねぎ、じゃがいもの収穫



○関門地区運動会



○見守り隊の方と集団下校



○子育てサロン



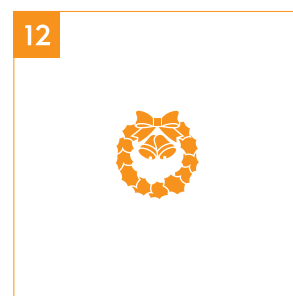
○中央地区運動会



○敬老の日の集い



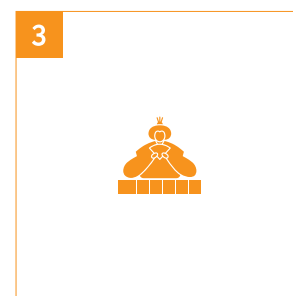
○ナイトフェスタ in 青空



○新春ふれあいの集い
○コミ設立30周年記念式典



○公民館祭
○建国記念奉祝行事



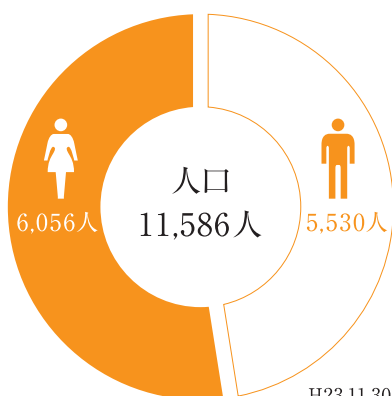
徳山小学校区コミュニティ推進協議会

昭和57年1月29日設立

コミュニティ会長

梶山 正一

世帯数 5,795世帯
面積 2.99 km²



H23.11.30 現在

中央地区公民館は、市道若宮町線に面した街角にあり、市内の公民館の中で最も市街地に近い場所にあります。通常、公民館は一地区ごとに建設されていますが、徳山小学校区に建っている中央地区公民館には、中央地区と関門地区の二地区があります。従って徳山小学校区では、二地区が一体となってイベント等を行っています。春は関門地区のさくら街道祭、夏は中央地区のナイトフェスタ in 青空が主要なイベントで、それぞれ2千人ちかい人出があります。

Pickup

ナイトフェスタ in 青空

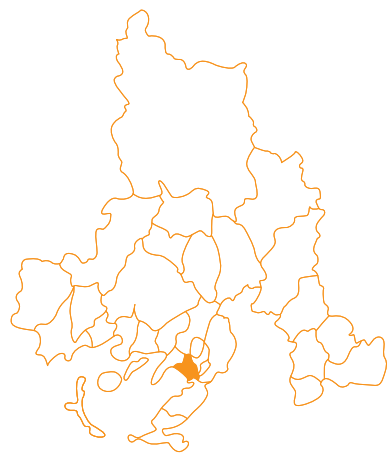
平均参加人数	約 2,000人
集客・PR方法	地区内全戸にチラシ配布、ふるさと振興財団窓口、各公民館
関係団体	コミュニティ構成団体 (規約第7条の3)

- 特長・工夫
- ・今回は徳山小学校教諭3名によるギターバンド演奏をお願いした。
 - ・ごみの処理は各団体毎に処理することとした。



遠石地区

とろしちく



上・遠石八幡宮 下・影向石

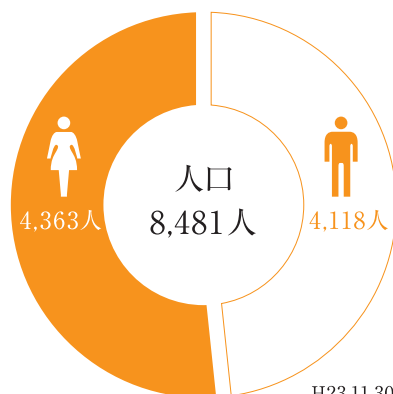
遠石地区コミュニティ推進協議会

昭和56年4月1日設立

コミュニティ会長

福田 秀夫

世帯数 4,012世帯
面積 4.73 km²



H23.11.30 現在

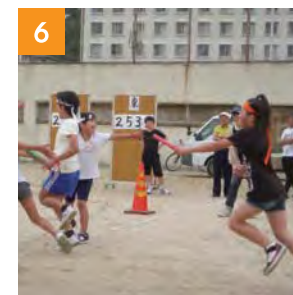
遠石八幡宮を中心に門前町、宿場町として栄えたところです。南側海岸沿いにはコンビナートが林立し、北側は周南団地に接し、東西に長い地形です。遠石地区は、商業地域、住居地域、石油コンビナート工業地域、また、工業地と居住地の緩衝的役割を果たす広大な周南緑地公園などがあり、変化に富んだ地域といえます。住民意識は、古くからの地縁血縁の強い伝統的な面と、企業進出による都市型の、二面的な構造が伺えます。自主と連帯に基づき、ふれあいのある住みよい地域社会を築くことを目標としています。



○遠石小学校体育館落成式



○新宮祭



○遠石オリンピック



○環境美化活動



○花の寄せ植え講習会



○遠石秋まつり



○敬老会



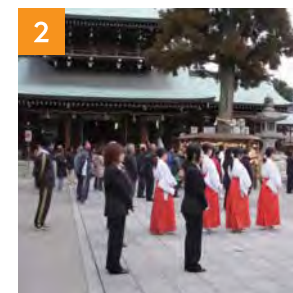
○わいわいクラブ(とろんこ畑)[通年]
○30周年記念行事



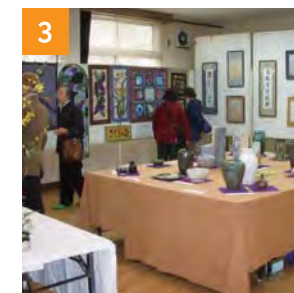
○しめ縄・門松作り



○どんど焼き
○新春ふれあいの集い



○建国記念の日記念事業



○公民館文化祭

Pickup

遠石秋まつり

平均参加人数	3,000人
集客・PR方法	コミュニティ&公民館報・チラシ
関係団体	遠石秋まつり実行委員会

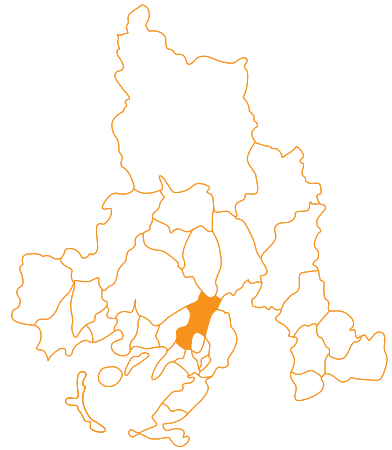
特長・工夫

理事会で選任された実行委員長を中心に実行委員会を構成しています。その年度の企画運営とその行事に関する一切の事柄を進行する委員会は、3ヶ月の間に実に10回以上会議を行い、委員会の決定事項に基づいて関係団体が動き出します。祭り当日の盛り上がりはもちろん、この準備期間のコミュニケーション作りをもっと大切にしています。



岐山地区

ぎさんちく



上・周南市文化会館 下・周南市美術博物館

4 ○挨拶運動 [通年] ○立哨 [通年]	5 ○子供見守り隊対面式 ○アユの放流	6 ○23年度総会	7 ○史跡看板金属化
11 ○第29回 岐山まつり	Pick up 10 	9 ○子供見守り隊対面式	8
12 ○どんど焼き ○新春ふれあいの集い	1 	2 ○ふるさと探訪ハイキング	3

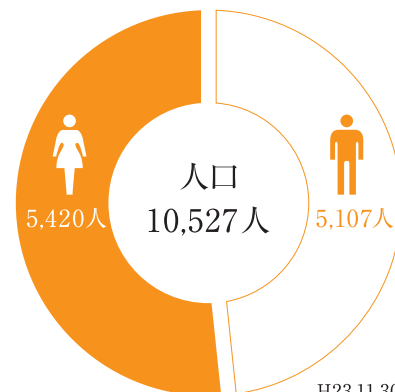
岐山地区コミュニティ推進協議会

昭和56年10月18日設立

コミュニティ会長

河内山 建夫

世帯数 …………… 4,968世帯
面積 …………… 7.34 km²



H23.11.30 現在

周南市中心部の北にある岐山地区は、緑豊かな岐山の麓に位置しています。地区の中央部を国道が東西南北に走っており、交通の要となっています。また、古くは徳山藩毛利4万石の居館の地として栄えた由緒ある地区です。現在では、動物園、文化会館、美術博物館、小・中・高校があり、文化、教育をリードしている地区です。地区の安心・安全の見守り活動として、犬の散歩や買い物の際に、ウォークパトロールの腕章・タスキを着用し行動しています。

Pickup

岐山まつり

平均参加人数	1,000人
集客・PR方法	チラシ4,000枚 (B4 1色片面印刷) を岐山地区各自治会を通して個別に配布
関係団体	コミュニティ推進協議会、自治会連合会、社会福祉協議会、スポーツ振興会 他6団体

特長・工夫
多くの地区住民の参加を願って、豪華景品が当たる「福引き券」付きチラシを各家庭に配布しています。

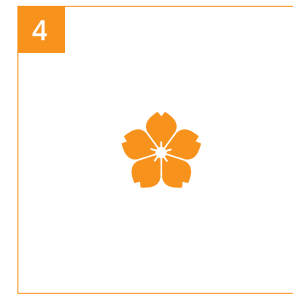
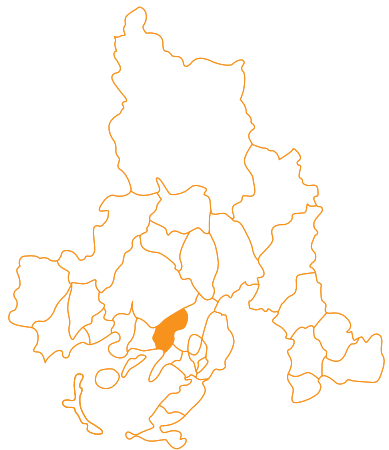


今宿地区

いまじゅくちく



上・地区の全貌 下・今宿小学校の校庭芝生化



○親睦大運動会
○総会

○花壇の苗植え替え

○子どもキャンプ

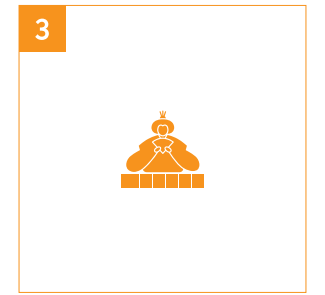
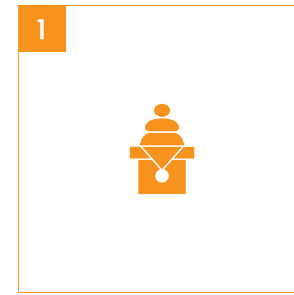


○なかよし募金もちつき
○花壇の苗植え替え

○今宿街なかウォーク

○敬老会

○元気今宿夏まつり



○ふれあい忘年会
○周南冬のツリー祭り

○建国記念行事

今宿地区コミュニティ推進協議会

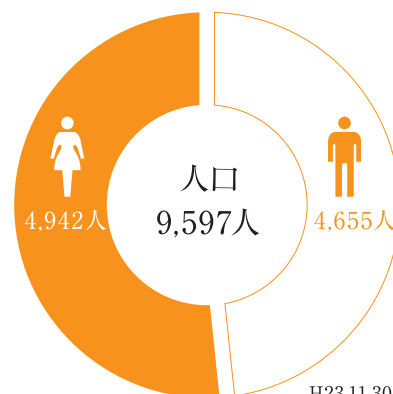
昭和53年6月10日設立

コミュニティ会長

田村 文明

世帯数 …………… 4,678世帯

面積 …………… 4.62 km²



H23.11.30 現在

今宿地区は旧徳山市4地区の中で駅を境に西側に位置し、南部は工業・商業の町です。人口はピーク時の約80%まで減少し、少子高齢化が進んでいます。コミュニティ推進協議会設立は昭和53年で、現在も盛んに活動していますが、参加者は年々減少しています。しかし、主な行事の準備や片付けに住吉中学校生徒が積極的に参加するボランティア活動は、地域活性化の一助となっています。また、今宿小学校では平成22年6月にグラウンドを芝生化し、地域一丸となって生育しています。最後に、過疎化の進んでいる水上地区は今も櫓を組んでの盆踊りで、伝統を継承しています。

Pickup

元気今宿夏まつり

平均参加人数 3,000人

集客・PR方法 地域全戸にチラシ配布、CCSで案内放映、広報車で地域内に広報

関係団体 自治会連合会・体育振興会・婦人会・子ども会育成会

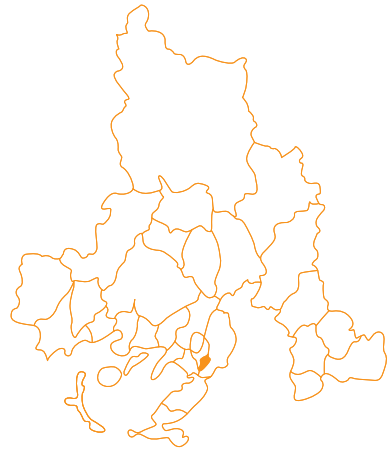
特長・工夫

地域内の素人屋台（各団体）を出す／子供神輿／中学吹奏楽／今宿小学校先生方のパフォーマンスと子ども広場／福引／毎年メインになるイベントを必ず1つ取り入れる



桜木地区

さくらぎ地区



上・とこの山山頂からの桜木地区 下・桜木通りよりとこの山を望む



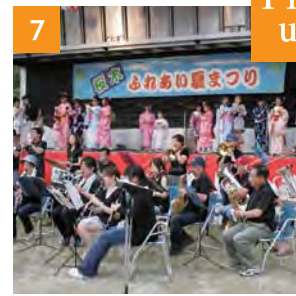
○桜木地区歓迎迎会



○桜木小「植木の剪定」



○地区一斉清掃（クリーン作戦）



○ふれあい夏祭り

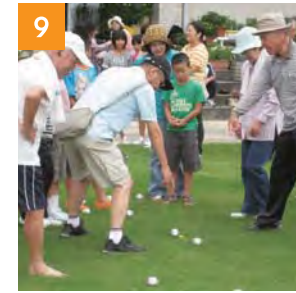
Pick up



○人権を考える集い



○桜木地区 フェスタ・文化祭



○三世交流スポーツ大会



○ラジオ体操



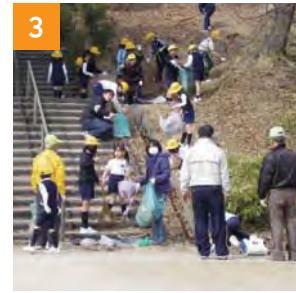
○とこの山整備作業 [7月・12月]



○ふれあい互礼会



○建国記念の日「祝賀行事」



○桜木小「一斉クリーン作戦」

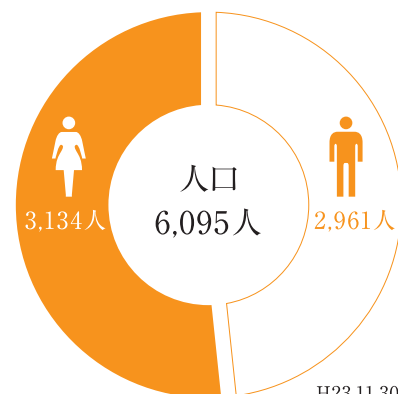
桜木地区コミュニティ推進協議会

昭和57年2月28日設立

コミュニティ会長

田村 勇一

世帯数 …………… 2,656世帯
面積 …………… 1.9 km²



H23.11.30 現在

【周南団地土地区画整理事業と「桜木地区」】

周南団地土地区画整理事業は昭和39年度から7カ年継続で、世紀の大事業として施行されました。その周南団地の一画を形成している桜木地区は、周南市の南東に位置し、桜木・城ヶ丘・平原町の三つの町からなります。北側に徳山大学、徳山高専を有し、そこから南側へと広がる閑静な住宅地です。地区には、南北朝時代（670年以上前）の歴史と「夜泣き石」伝説を残す“ふるさと山”として「とこの山（288.4m）」があります。

Pickup

桜木地区ふれあい夏祭り

平均参加人数	3,500人
集客・PR方法	公民館だより、各戸チラシ配布等による
関係団体	自治会連合会、徳山大学大学祭実行委員会、桜木地区体育振興会等各種団体

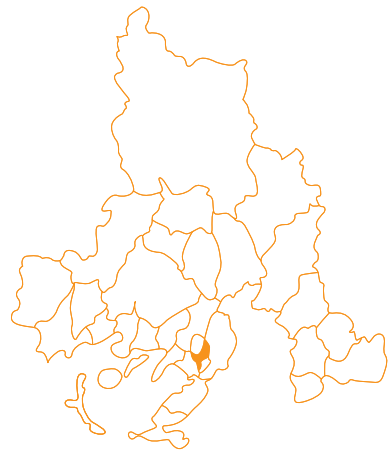
特長・工夫

- ・地域住民参加で手づくりの行事とすること
- ・マンネリ化防止のため、常に新企画の導入を心がける
- ・地域（ふるさと）文化の創造と継承（昨年より桜木小音頭に取り組み中）



周陽地区

しゅうようちく



上・周陽地区を望む 下・緑道(グリーンベルト)



○食事交歓会 [通年]



○総会



○あいさつ・交通立哨 [通年]



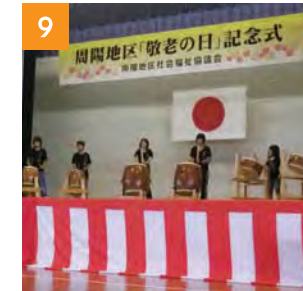
○防災防犯活動 [通年]



○資源回収 [通年]



○ふれあい運動会



○敬老の日記念式典



○周陽夏まつり



○門松作り



○新年互礼会
○どんど焼き



○「建国記念の日」行事



○文化祭

Pick up

周陽地区コミュニティ推進協議会

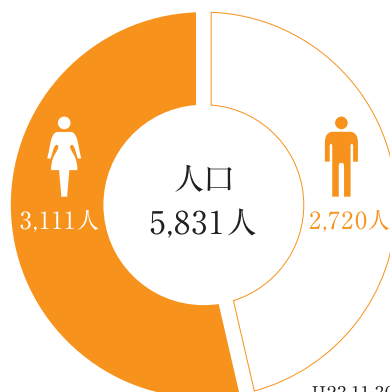
昭和54年9月9日設立

コミュニティ会長

原 康正

世帯数 …………… 2,756世帯

面積 …………… 2.15 km²



H23.11.30 現在

私たち周陽地区のコミュニティ活動の内容を紹介します。年間の大きな行事として写真で紹介するような行事が挙げられます。主な行事である夏まつりをさらに盛上げる為、平成23年度8月の夏まつりは初の試みとして和太鼓演奏を行いました。初めての事なので練習から本番まで、とまどいながら進めてきましたが、祭り当日は皆の協力のお蔭で大盛況でした。今後、和太鼓を周陽地区の伝統・文化に育て上げ地区活性化の一助にしたいと思っています。

Pickup

周陽夏まつり

平均参加人数	1,000~1,500人
集客・PR方法	チラシ配布 公民館だより「ふれあい」ポスター他
関係団体	コミュニティ組織加入団体・機関 (18団体・機関)

特長・工夫
まつりを長く続けると、これといった工夫がない場合、マンネリ化で参加者が少なくなりがちとなります。今年度(23年度)は和太鼓演奏で盛り上げました。



秋月地区

あきづきまち



上・小学校芝生 下・交通立碇



Pick up

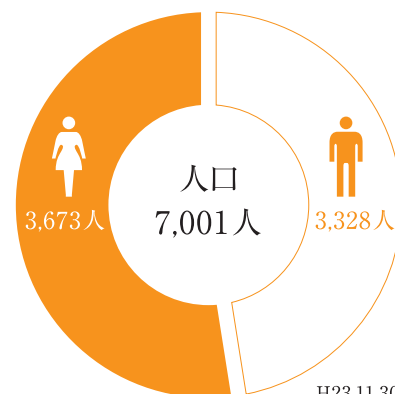
秋月地区コミュニティ推進協議会

昭和56年11月18日設立

コミュニティ会長

野村 賢史

世帯数 3,017世帯
面積 1.2 km²



H23.11.30 現在

秋月地区は、周南団地の西部に位置し国道2号線の北側丘陵地域です。町名としては、江の宮町、花陽一・二丁目、秋月一～四丁目、楠木二丁目、扇町（県営・市営住宅）があります。旧来からの団地と新しい団地が並存し、若い家族が多くて活気に満ちた地域です。生活面では、環境も良く学校、病院、商業施設も充実しております。周辺には、市営の公園・体育施設が整備され、スポーツや憩いの場として多くの人たちに利用されています。

Pickup

秋月地区納涼夏祭り大会

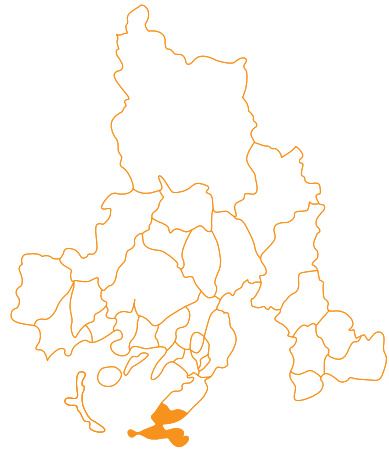
- 平均参加人数 2,000人～3,000人
- 集客・PR方法 市広報の折り込みチラシ・全世帯へ
- 関係団体 コミュニティ、自治会連合会、社協、小中PTA、公民館等

特長・工夫
最後に「おもち」まきをして、盛り上げました。



鼓南地区

こなんちく



上・海と山なみ(大島地区) 下・ふぐのモニュメント(杓島地区)

- 4 交通安全キャンペーン
- 5 コミュニティ総会
- 6 児童園から大島公民館に七夕飾りプレゼント
- 7 貴船祭り
- 8 ふれあい夏祭り
- 9 鼓南地区敬老会
大島小学校・地区合同運動会
杓島小学校・地区合同運動会
- 10 地区グラウンド清掃 [5月・8月・10月]
- 11 ふれあい文化祭
杓島地区文化祭 太華山登山
- 12 年末クリーン作戦
- 1 餅つき大会
- 2 建国記念の日ふれあい大会
- 3 中学生による公民館花壇整備[通年]

鼓南地区コミュニティ推進協議会

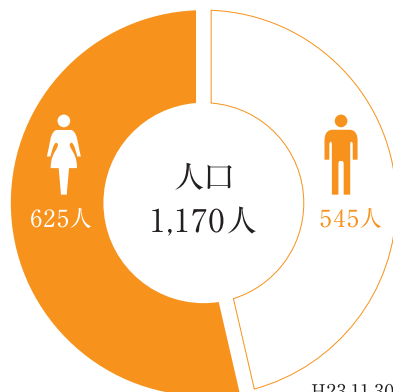
昭和56年10月28日設立

コミュニティ会長

三牧 蒔

世帯数 574世帯

面積 9.81 km²



H23.11.30 現在

鼓南地区は自然豊かな温暖な気候のところ、大島と杓島の2つの地域から成り立っています。大島は、太華山から連なる山々と澄みきった海に囲まれた風光明媚な地域です。太華山と言えば櫛浜側の登山道がよく知られていますが、大島側にも登山道があり、絶景が楽しめます。一方、杓島は、ふぐ延縄漁の発祥の地と言うことからも分かります。おりの漁業で栄えた地域であり、その象徴がふぐのモニュメントです。また、神輿が海を渡る『貴船祭り』も有名です。

Pickup

鼓南地区ふれあい文化祭

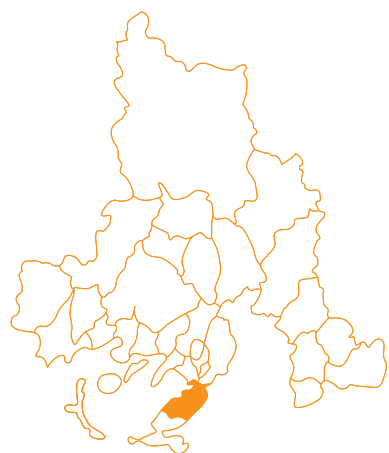
平均参加人数	約 500人
集客・PR方法	チラシを自治会加入世帯に配布
関係団体	コミュニティ推進協議会、各種地元団体、地元企業等

特長・工夫
フリーマーケットは、市広報を通じて地区外の人にも出店を呼びかけています。



櫛浜地区

くしがはまちく



上・太華山から徳山を望む 下・絶好の展望場所与謝野鉄幹の歌碑

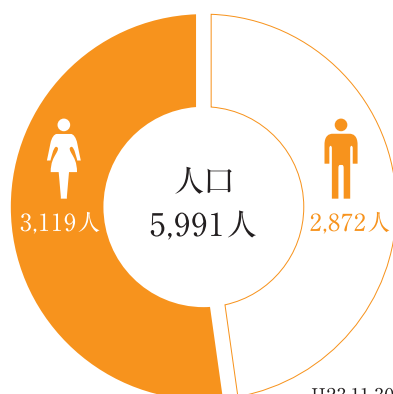
櫛浜地区コミュニティ推進協議会

昭和55年8月31日設立

コミュニティ会長

亀井 正幸

世帯数 2,584世帯
面積 7.8 km²



H23.11.30 現在

瀬戸内海に臨み、太華山を戴く櫛浜地区は、人口およそ6千人の歴史あるまちです。近年は、私たちのシンボルでもある太華山を広く市内外に発信していくべく、登山道・山頂の環境整備や、太華山を使った様々なイベントの開催などを行っています。太華山は周南市内で唯一、瀬戸内海国立公園の第2種特別地域に指定されており、山頂からは瀬戸内海の絶景を楽しむことができます。また、徳山湾と笠戸湾を結ぶ堀川運河では、毎年夏にいかだ乗り大会が行われ、子どもたちの歓声が響き渡ります。

Pick up



4 ○太華山山開き



5 ○干潟フェスティバル
○サイクリング大会



6 ○キャンドルナイト(夏至)



7 ○納涼大会



8 ○ふれあいそめん流し
○太華山クリーンハイキング
○堀川いかだ乗り大会



9 ○地区運動会



10 ○太華山クリーンハイキング



11 ○文化祭



12 ○ふれあい会
○キャンドルナイト(冬至)



1 ○どんど焼き



2 ○史跡探訪
○建国記念の日奉祝行事
○クリーン作戦



3 ○卒業記念グラウンド
ゴルフ大会

Pickup

納涼大会

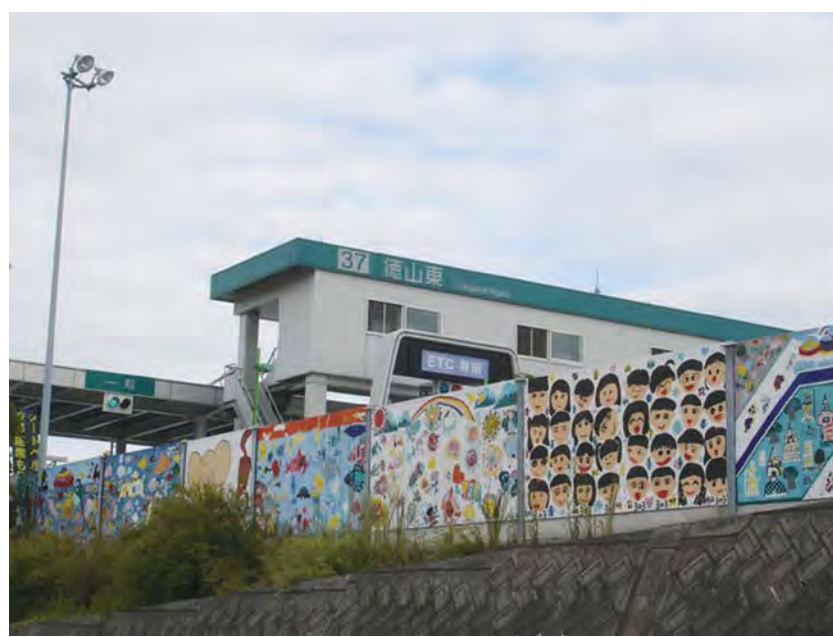
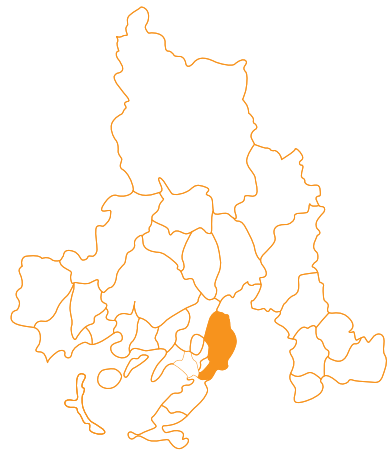
平均参加人数	3,000人
集客・PR方法	地区内ポスター掲示・チラシ各家庭配布
関係団体	企画部会・実行委員会

特長・工夫
参加者が、ただ観客となるのではなく、実際にステージに立って参加するようにイベントを組み立てました。



久米地区

くめちく



上・天神山公園 下・山陽自動車道徳山東インター

- 4 ○環境愛土隊活動
- 5 ○総会
- 6 ○コミュニティ学習田
- 7 ○スポーツ広場整備
- 8 ○久米地区ふるさと夏まつり
- 9 ○コミュニティ学習田
- 10 ○久米地区総ふれあい大運動会
- 11 ○コミュニティ研修旅行
- 12 ○しめ縄作り教室
- 1 ○どんど焼き ○新年互礼会
- 2 ○久米地区駅伝大会
- 3 ○地区文化祭

Pick up

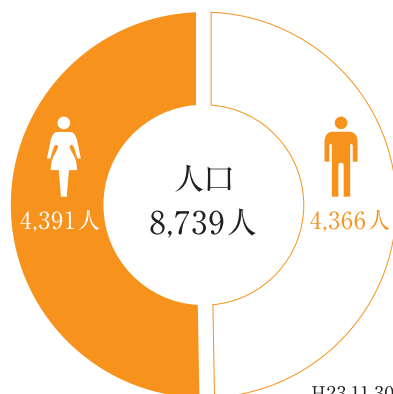
久米地区コミュニティ推進協議会

昭和56年10月12日設立

コミュニティ会長

池部 博正

世帯数 4,035世帯
面積 15.47 km²



H23.11.30 現在

久米地区は、人口約9千人、世帯数約4千世帯、44の単位自治会によって元気に活動しています。コミュニティ組織を支える事務局が中心となり、地域による「協働・共生・共創」をスローガンに、「ふるさと夏まつり」「総ふれあい大運動会」「文化祭」「コミュニティ学習田」など、創意と工夫を凝らした地域活動を実践しています。これからも地域一体となって、「久米を熱く」していきます！

Pickup

久米地区ふるさと夏まつり

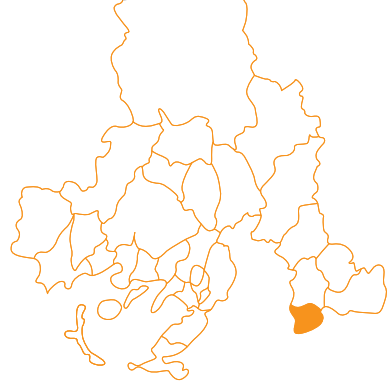
- 平均参加人数 1,000人以上
- 集客・PR方法 コミュニティ紙を全戸配布・まつりチラシを全戸配布・広告企業へも配布
- 関係団体 自治会・体振・婦人会・スポ少・寿会・社協・ほかコミュニティ事業構成団体

- 特長・工夫
 - ・まつり実行委員会スタッフを3班に分けた（企画・庶務・設営）。
 - ・徳山大学のレスリング部全員の応援と中学生ボランティアの手伝い。



大河内地区

おおかわちちく



上・大河内柱松 下・虎ヶ岳初日登山



○陽春の虎ヶ岳登山



○コミュニティ総会



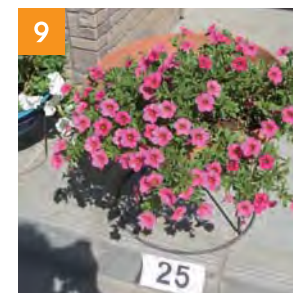
○大河内花いっぱい運動



○柱松笠づくり



○大河内ふれあい秋まつり



○花いっぱい運動の審査



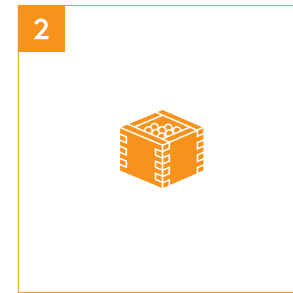
○大河内ふれあい夏まつり



○輪飾り教室



○虎ヶ岳初日の出登山



○大河内ピカピカ大作戦

Pick up

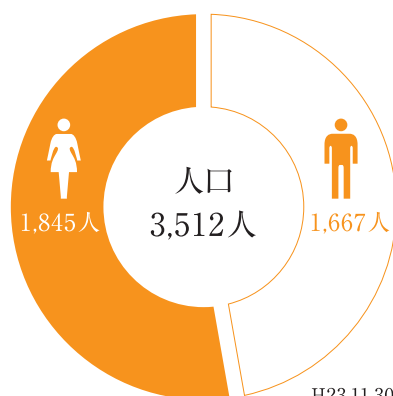
大河内地区コミュニティ推進協議会

平成19年4月1日設立

コミュニティ会長

村川 哲夫

世帯数 …………… 1,457世帯
面積 …………… 約 6.3 km²



H23.11.30 現在

地区の伝承行事である「おおかわちしらまつ大河内柱松」。天保年間に始まり、一時途絶えていましたが、地元住民により復興されました。今では大河内ふれあい夏まつりのメインイベントとして定着しています。柱松に火がつき萩の葉が火の粉となって舞い落ちる姿は華麗かつ勇壮で、観客達を大いに魅了しています。また、郷土の山として親しまれている「とらがだけ虎ヶ岳」は、頂上から島田川や瀬戸内の島々、九州国東半島、北側にも中国山地の山々を遠望でき、人気を集めています。コミュニティでは元旦と4月に登山大会を開催しており、近年は他地区からの参加者も増えて大河内の名所として定着しています。

Pickup

大河内ふれあい夏まつり

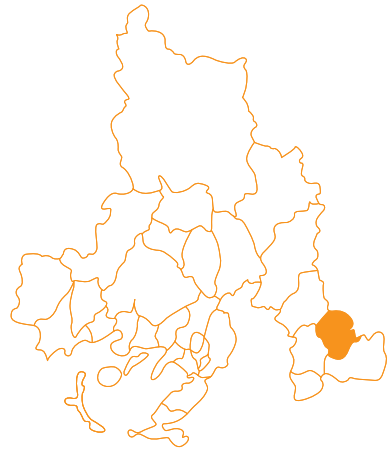
平均参加人数	400人程度
集客・PR方法	コミュニティ広報誌および当日のアナウンサーによる巡回
関係団体	コミュニティの会員

特長・工夫
伝承行事の柱松をメインとした夏まつりです。コミュニティ参加団体によるバザーの出店や、コミュニティ体育振興部によるスイカ割り大会などを実施し、夏の風物詩として定着しています。



高水地区

たかみずちく



上・夫婦岩 下・三光寺 周南七福神 弁財天



○花壇整備 [通年]



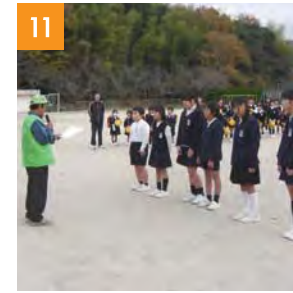
○高水公民館まつり



○通学合宿



○高水スポーツ大会



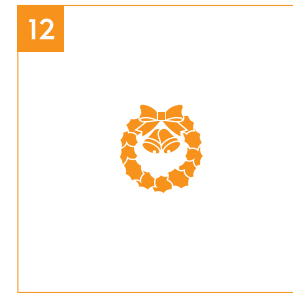
○標語表彰式



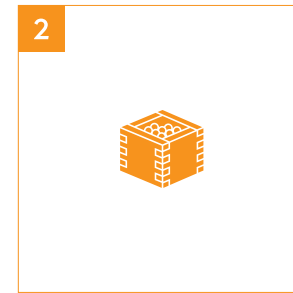
○高水地区敬老会



○熊本中学校ボランティア



○どんど焼き



○高水生涯学習作品展

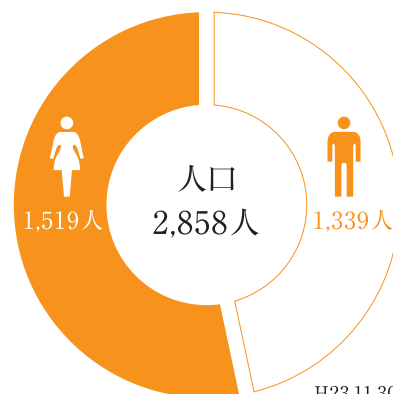
高水地区まちづくり推進協議会

平成20年4月1日設立

コミュニティ会長

竹村 正美

世帯数 …………… 1,188世帯
面積 …………… 約 13.16 km²



H23.11.30 現在

高水地区は、周南市の東部に位置し、自然が豊かな地区です。高水地区の北部には烏帽子ヶ岳（標高697m）があり、そこから高水地区に清らかな水の流れを与えています。「山高く、水清し」。これが高水という名前の由来だそうです。南部には三光寺があり、周南七福神の一つ（弁財天）で三蔵院ともいい、滝の観音（乳観音）のあることで有名です。後方の清尾山の頂上には、二つの巨岩があり、ふもとの高水神社の奥の院と伝えられている夫婦岩があります。

Pickup

通学合宿「たかみず」

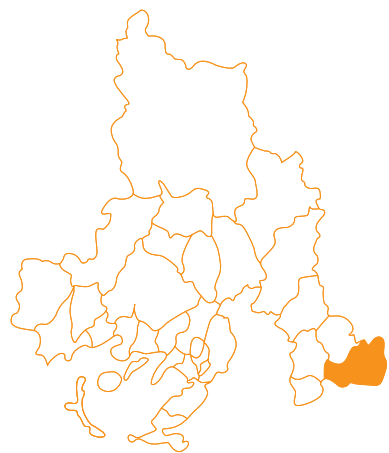
- 平均参加人数 高水小学校4年生児童対象
- 集客・PR方法 チラシの配布
コミュニティ情報誌に掲載
- 関係団体 高水地区まちづくり推進協議会
高水小学校、高水地区校外育成協議会

特長・工夫
高水公民館、高水ふれあいセンターで、高水小学校4年生児童を対象とした、5泊6日の通学合宿を開催しています。この合宿は、学校行事ではなく、コミュニティで取り組んでおり、合宿の運営は、高水地区の団体、住民が行なっています。



三丘地区

みつおちく



上・徳修館と孔子像 下・安田の糸あやつり人形芝居



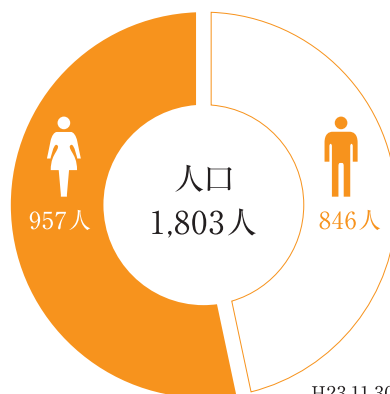
“ほっと三丘”コミュニティ協議会

平成20年4月1日設立

コミュニティ会長

樫山 隆

世帯数 …………… 743世帯
面積 …………… 約 19.5 km²



H23.11.30 現在

歴史と出湯と清流の郷“三丘”

三丘地区は、2級河川島田川の中流に位置し、なだらかな山域に囲まれた沖積平地の地形です。島田川一帯からは、縄文時代後期から弥生時代の遺物が多く発掘され、「高地性集落発祥の地」として有名です。毛利家の筆頭家老宍戸氏の領地として栄えた当時の「徳修館」や「安田の糸あやつり人形芝居」などの歴史的文化財も多く残っています。三丘温泉や呼鶴温泉は、多くの湯治客が訪れ、日帰りでものんびりできる湯として喜ばれています。島田川支流の黒岩峡は、春の新緑、夏の川遊び、秋の紅葉と四季の変化に富み、ゆるやかな溪流を散策しながら、美しい自然を楽しむことができるスポットです。

Pickup

三丘徳修館まつり

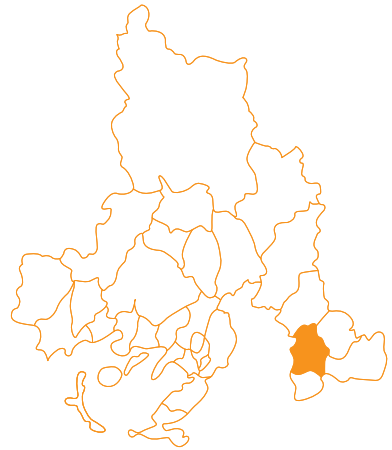
平均参加人数	800~1,000人
集客・PR方法	地区内チラシ配布、旧熊毛地区内の公民館ポスター掲示、広報掲載等
関係団体	三丘徳修館まつり実行委員会

特長・工夫
子どもたちや来場者が体験しながら、楽しめる企画イベントを採用しています。



勝間地区

かつまちく



呼坂本陣

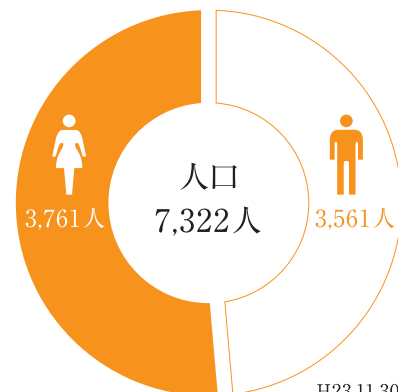
勝間コミュニティ推進協議会

平成21年 3月31日設立

コミュニティ会長

中川 日出彦

世帯数 …………… 2,841世帯
面積 …………… 約 12.9 km²



H23.11.30 現在

山陽道(旧街道)の宿駅、呼坂本陣
江戸時代、山陽道は山陽路、西国街道、中国街道、中国路などとよばれており、幕府の道中奉行が管轄する五街道に次ぐ位置をしていました。1635年3代将軍徳川家光(NHK大河ドラマ、秀忠とお江の嫡男)は参勤交代を制度化しました。呼坂の町は当時、宿駅として盛況であったようです。天明年間(1781~1788)から江戸時代末ころまで河内家は本陣を引き受け、参勤交代の大名や幕府の上使が宿泊や休息をしました。お休み札、宿泊の部屋、萬日記、屋敷見取り図などが保存されています。

Pickup

勝間ふれあいまつり

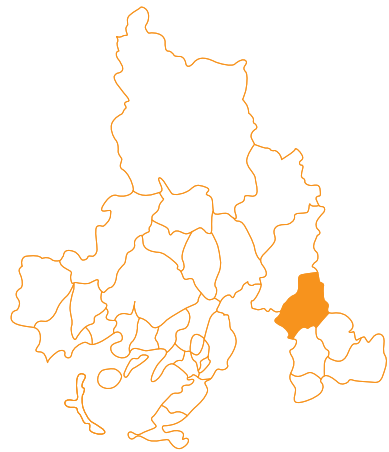
- 平均参加人数 約 2,000人
- 集客・PR方法 ふれあいメール(コミュニティ情報)を全戸に配布
- 関係団体 ふれあい祭り実行委員会

特長・工夫
特記すべきことはないが、あえて言えば高齢者の参加を促す工夫が必要と考えています。



八代地区

やしろちく



上・ナベヅル 下・野鶴監視所



○お花見グラウンドゴルフ大会



○給餌田植え



○地区ソフトバレーボール大会
○総会
○クリーン作戦



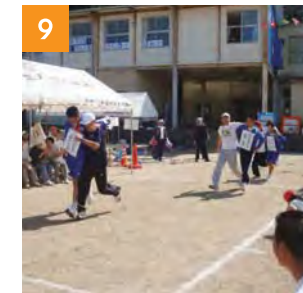
○地区ソフトボール大会



○観光収穫祭
○文化作品展



○ネグラ整備
○梅と桜の森公園整備



○地区運動会



○THE 夏まつり

Pick up



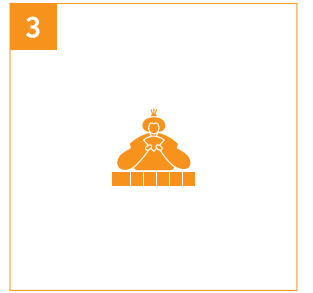
○ツル慰霊祭



○どんど焼き
○梅と桜の森公園整備



○ちびっ子まつり



鶴里コミュニティ協議会

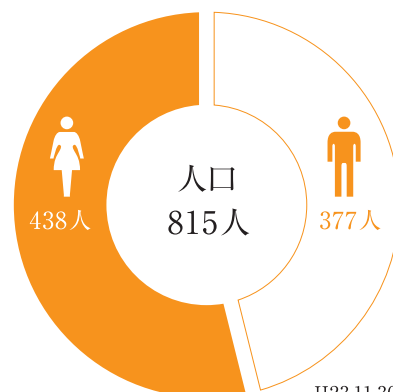
平成20年4月1日設立

コミュニティ会長

西田 孝美

世帯数 346世帯

面積 18.7 km²



H23.11.30 現在

八代地区は、本州唯一のナベヅルの渡来地で、「八代のツル及びその渡来地」は国の特別天然記念物に指定されています。古くから「ツルと人との共生の里」として、ネグラや餌場の整備など地域住民が中心となった自然環境保全活動が積極的に行われています。渡来したツルは、10月下旬から3月下旬にかけて観ることができ、野鶴監視所には毎年多くの見物客が訪れます。

Pickup

THE 夏まつり

平均参加人数 300人

集客・PR方法 チラシの全戸配布

関係団体 夢現塾、カトレア会、青年団、まいづる会、つる里クラブ、子ども会、スポーツ振興会

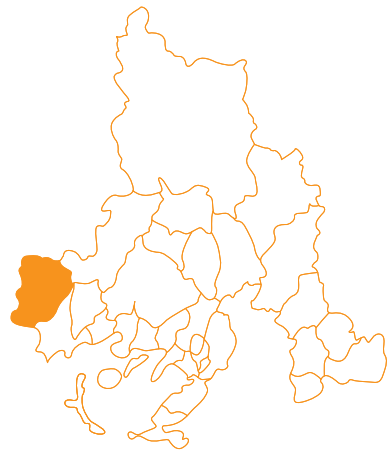
特長・工夫

昨年から今年にかけて横断幕や各バザーののぼりを新調し、祭りの華やかさを演出しました。



湯野地区

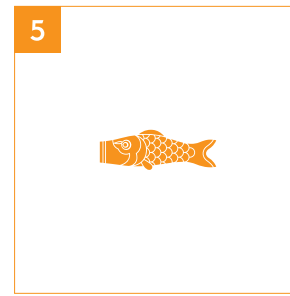
ゆのちく



上・坊っちゃん像 下・サンサンロード



○湯野温泉春祭り



○西徳山総合グラウンド
草刈り作業[6月・8月・10月]



○河川一斉清掃



○観音岳歩け歩け大会
○湯野ふるさと祭り



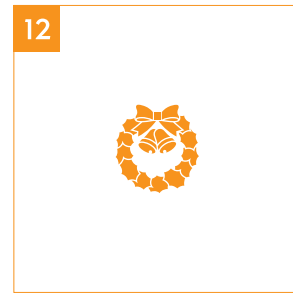
○湯野地区大運動会



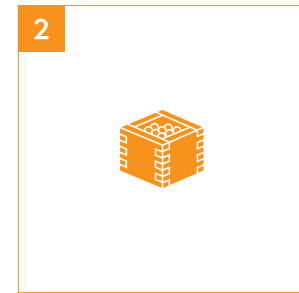
○敬老会



○湯野温泉郷夏祭り
盆踊り大会



○道祖神火祭り
○新春登山



○3世代交流グラウンドゴルフ大会
○戦没者慰霊祭

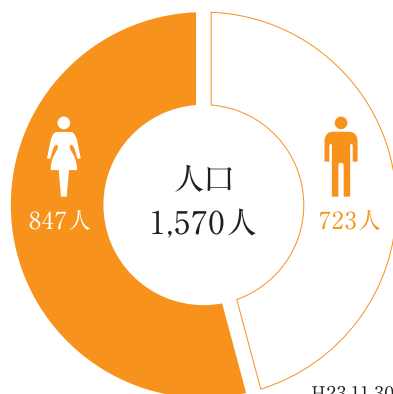
湯野地区コミュニティ協議会

昭和53年5月10日設立

コミュニティ会長

玉木 信義

世帯数 …………… 734世帯
面積 …………… 24.79 km²



H23.11.30 現在

■釣りをする坊っちゃん像

湯野地区は夏目漱石の小説「坊っちゃん」のモデルとされる弘中又一の出身地ということで、夜市川のそばに建てられた像です。この他にも弘中又一記念公園が整備され湯野地区のシンボルとなっています。

■サンサンロード

湯野地区を流れる夜市川沿いの遊歩道。春は桜並木が温泉街をきれいに彩ります。

周南市の一番西に位置する湯野地区は、温泉地として有名であり、豊かな自然と歴史が息づく地区です。

Pickup

湯野ふるさと祭り

平均参加人数	150人~200人
集客・PR方法	全戸チラシ配布
関係団体	湯野地区コミュニティ協議会

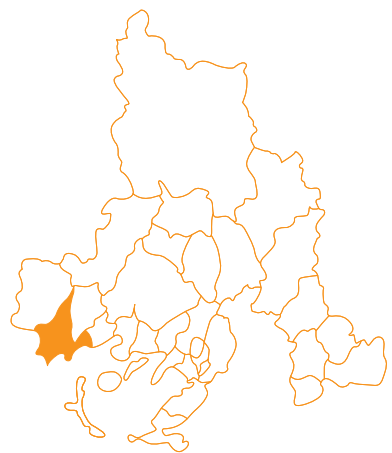
特長・工夫

地域住民の交流を通して住みよい地域づくりを目指す一方、公民館講座生の作品展示や発表の場もあり、公民館祭も兼ねています。協議会を組織する団体の多くがバザー等で参加しています。



戸田地区

へたちく



上・昇仙峰 下・四郎谷棚田

4 ○れんげまつり
○各団体総会

5 ○グラウンドゴルフ大会

6 ○西徳山総合グラウンド
草刈作業[6月・8月・10月]

7

8 ○盆踊り大会

9 ○敬老の日の集い

10 ○地区大運動会

11 **Pick up**
みのりフェスタ

12 ○昇仙峰登山道整備

1 ○新春互礼会
○新春登山

2 ○戸田寿会「七草の会」

3 ○避難・火災訓練

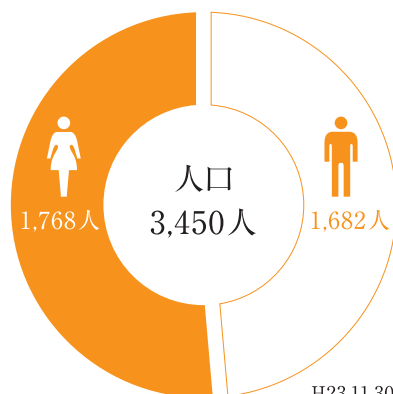
戸田地区コミュニティ推進協議会

昭和56年7月3日設立

コミュニティ会長

堀本 明

世帯数 1,382世帯
面積 20.75 km²



H23.11.30 現在

昇仙峰は、ふるさと創生事業の一環として戸田地区民の手によって整備されました。戸田の西南に聳える秀峰で海拔261m、往古、山伏が修験したと伝わる神秘的な明峰でもあります。頂上は徳山湾が一望でき、今ではハイキングコースに整備されています。四郎谷地区の棚田は、昨年「やまぐちの棚田20選」に選ばれました。海を仕切って造られた開作以外は全て棚田という厳しい環境ですが、棚田と民家、輝く海、海岸線を走る鉄道が一体となり全国的にもめずらしい景観です。

Pickup

みのりフェスタ(地区文化祭)

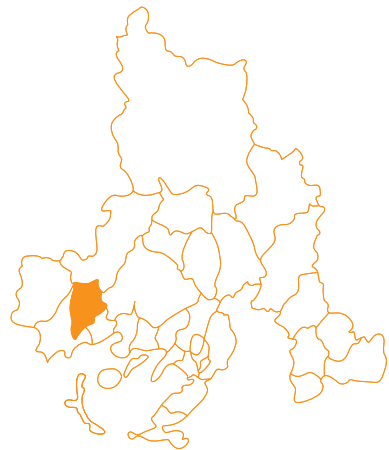
平均参加人数	500人～600人
集客・PR方法	ポスター、チラシ等
関係団体	各種団体20余(コミュニティ自主事業)

特長・工夫
毎年、新しい出品者を掘り起こし、新しい企画を加えます。



夜市地区

やじちく



上・五輪塔 下・さといも畑

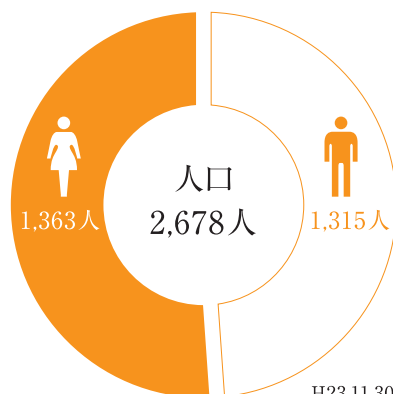
夜市地区コミュニティ推進協議会

昭和57年3月14日設立

コミュニティ会長

藤井 良治

世帯数 …………… 1,100世帯
面積 …………… 11.64 km²



H23.11.30 現在

当地区は、JR山陽本線・国道2号線・山陽新幹線・さらには山陽自動車道の4本の大動脈が横断しています。特に国道2号線沿いであること、JR戸田駅があることから交通の便がよく、最近では新興住宅地も増加してきています。周りは豊かな自然に囲まれ、それを活かした産業の一つとして栽培されている根物野菜（主に里芋・ごぼう・自然薯）は味の良いことで有名です。また、若山城跡や県下最古の五輪塔などの史跡も点在する地域でもあります。

- 4 ○夜市地区歓送迎会
- 5 ○夜市川草刈清掃作業 [年2回]
- 6 ○西徳山総合グラウンド草刈作業[6月・8月・10月]
- 7 ○夏の親睦会(ビアガーデン)
- 8 ○夜市地区ふれあい納涼盆踊り大会
- 9 ○敬老会
- 10 ○的場公園草刈清掃作業 [年3回]
- 11 ○やじの文化祭
- 12 ○イルミネーション事業 (スターライト夜市)
- 1 ○どんど焼き ○新春ふれあいの集い
- 2 ○ウォーキング大会
- 3 ○ふれあいの旅

Pickup

やじの文化祭

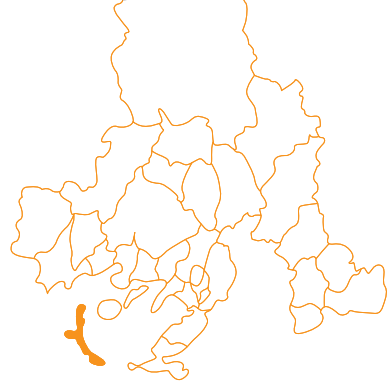
平均参加人数	約 400 人
集客・PR方法	各戸にチラシ配布
関係団体	夜市地区コミュニティ推進協議会、夜市公民館定期講座団体

特長・工夫
・例年3月に開催していたが、農産物等の販売やPRができるよう、平成22年度より11月の秋開催に変更。



大津島地区

おおづしまちく



上・刈尾海水浴場 下・大津島小学校校門前の桜



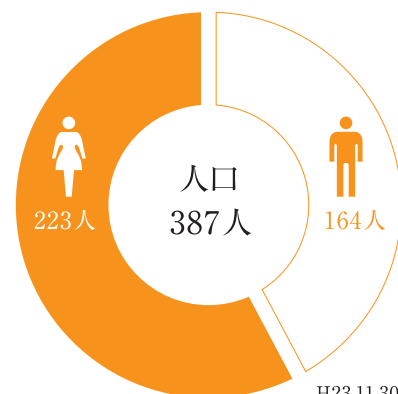
大津島地区コミュニティ推進協議会

昭和57年3月31日設立

コミュニティ会長

安達 壽富

世帯数 238世帯
面積 8.79 km²



H23.11.30 現在

徳山港より約10km沖合いにある大津島は、四方を海に囲まれ、海の幸・山の幸に恵まれた自然豊かな地域です。過疎高齢化が進む地域ではあるが、高齢者が中心となり、力を合わせて地域を支えています。回天記念館・発射訓練基地など文化遺産や歴史ある島として、また夏場には刈尾海水浴場に多くの観光客が訪れます。

Pickup

大津島桜まつり&大津島・須金両老人クラブ交流会

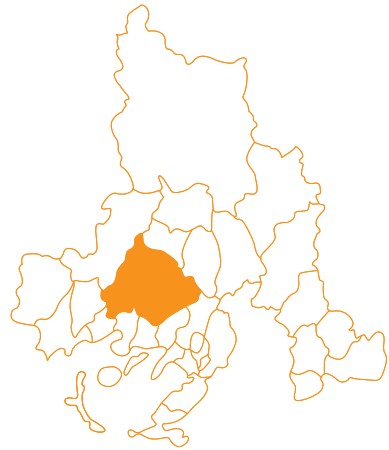
- 平均参加人数 約100人
- 集客・PR方法 島内発行のコミュニティ紙「潮流」にて告知
- 関係団体 大津島地区コミュニティ推進協議会
老人クラブ・自治会連合会

特長・工夫
桜まつり開催に合わせ、須金老人クラブとの交流会を同時に実施しています。



菊川地区

きくがわちく



上・富田川 下・小畑地区の棚田

住みよい菊川をつくる会

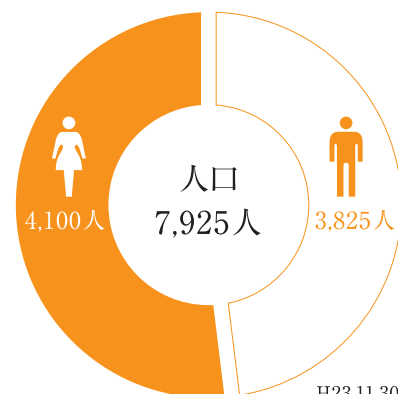
コミュニティ会長

貞弘 正勝

昭和52年5月14日設立

世帯数 …………… 3,095世帯

面積 …………… 49.61 km²



H23.11.30 現在

地域最大の面積と約8千人の人口を誇る菊川地区は、豊かな緑と穏やかな空気に包まれた街です。中心部を清流・富田川が流れ、数多く残る史跡や石碑が深い歴史を今に伝えてくれています。市街地に近いことから世帯数も増加傾向にあり、生活と自然と歴史が融合した情緒溢れる利便性の高い街へと変化を遂げています。年間を通じて、趣向を凝らした行事の開催、多彩な情報発信など、コミュニティ活動や自治会活動も盛んです。



Pickup

菊川まつり

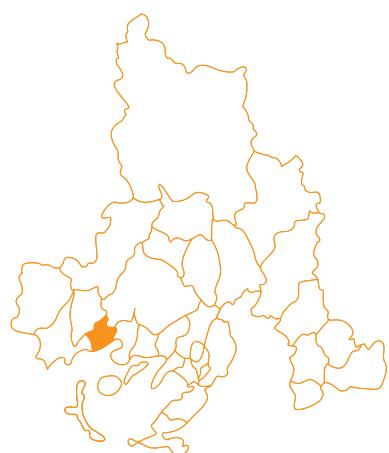
平均参加人数	約 3,000 人
集客・PR方法	全戸配布チラシ、地区広報誌、ポスター
関係団体	連合自治会、民生児童委員、老人クラブ、体育振興会、子ども会、PTA、交通安全協会中部支部、消防団、小中学校、保育園、幼稚園、菊川駐在所、JA周南徳山支所、自主防犯・防災

特長・工夫
地区内最大のイベントとして23年度で32回目を迎える歴史のあるお祭りです。各団体が趣向を凝らしたパザーを出店し、公民館講座生や児童・生徒らによる作品の展示会を開催しています。毎年、魅力ある企画を協議し、幅広い年代に楽しんでもらえる祭りづくりを目指しています。



福川地区

ふくがわちく



上・若山を見上げる 下・若山山頂より



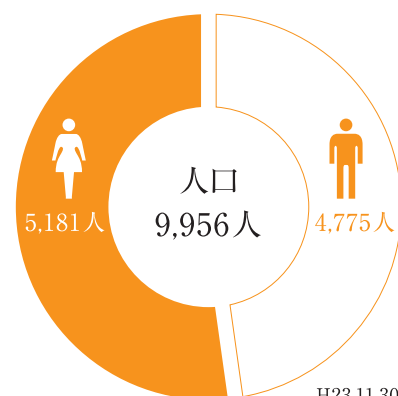
福川地区コミュニティ推進協議会

平成21年2月28日設立

コミュニティ会長

中村 利孝

世帯数 …………… 4,080世帯
面積 …………… 7.1 km²



H23.11.30 現在

福川地区の北にある若山は、地区内のどこからも見ることができます。山頂にある若山城は、中世の武将、陶弘政が文明2年(1470年)に築城し、弘治3年(1557年)毛利軍によって攻め落とされた山城です。福川、夜市の両地域にまたがる標高217メートルの「若山」山頂にある城跡は、県の文化財に指定されています。昭和43年(1968年)、福川青年団によって新春の登山行事が始まり、昭和48年(1973年)に行政が登山道や山頂付近の駐車場を整備しました。登山道には、全国の桜が植樹され、地域住民から桜の名所としても親しまれています。平成16年(2004年)には「陶の道・若山城登城のみち」が「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれました。

Pickup

敬老会 (盆おどり大会・地区運動会)

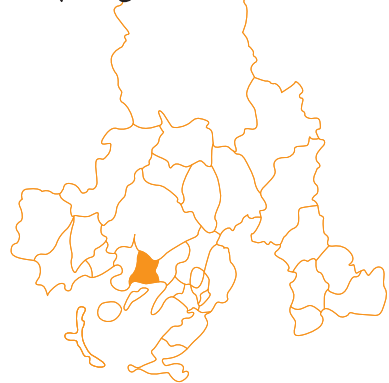
平均参加人数	300人
集客・PR方法	全世帯会報(社協だより) (全世帯チラシ、パンフレット)
関係団体	地区社協実行委員会

特長・工夫
地域社会に貢献された方々なので、全地域社会団体関係者に支援をお願いし、若年層の参加に配慮しています。



富田東地区

とんだひがしちく



上・サンフェスタしんなんよう 下・富田川の鯉

4 	5 	6 	7 
○各団体総会	○まんどころ来てみん祭	○ママチャリ2日耐久レース	○夏の交通安全県民運動
11 	10 	9 	8 
○あそびんピック	○とんとんまつり	○敬老会	○納涼祭
12 	1 	2 	3 
○とんとん会館冬の大掃除	○ご来光の集い	○富田八十八箇所お大師巡拝	

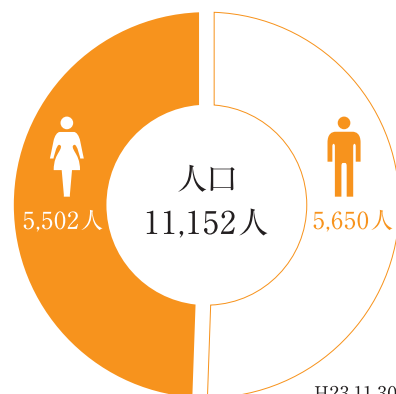
富田東地区まちづくり協議会

平成21年3月19日設立

コミュニティ会長

吉木 正實

世帯数 …………… 4,814世帯
面積 …………… 5.05 km²



H23.11.30 現在

富田地区は北に四熊ヶ嶽、南に鼓ヶ浦、中央部に県下屈指の永源山公園…。富田東地区はこのすばらしい環境に加えて、JR新南陽駅がその中心に位置し、駅前から政所に至る商業地域では、毎年夏にサンフェスタしんなんようが開催されます。地区の東部には鯉の泳ぐ富田川があり、また安産・眼病に霊驗あらたかな川崎観音では、毎月17日の縁日に行われる接待に、市内外から多くの皆さんが参詣します。また竹島にある古墳からは、中国の魏から卑弥呼に贈られた鏡の1枚が出土し、古代からこの地域が栄えた事を物語ります。

Pickup

広報紙「とんとんだより」発行

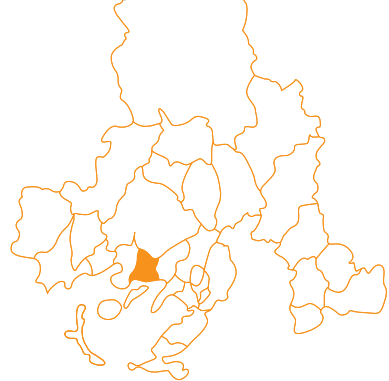
平均参加人数	富田東地区全戸(約4,000戸)に年4回配布
集客・PR方法	地区内各団体の活動を紹介
関係団体	新南陽自治会連合会富田東支部他20団体

特長・工夫
予算が限られているので、印刷・仕分けを自分達の手で行っています。



富田西地区

とんだにしちく



上・ゆめ風車 下・永源山公園モニュメント

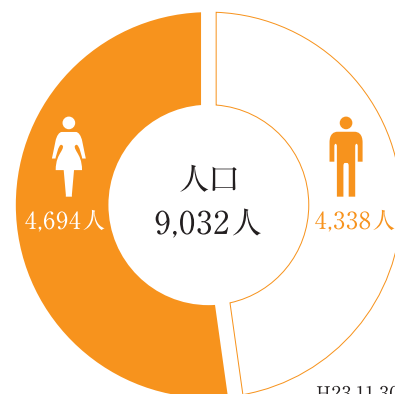
富田西地区コミュニティ推進協議会

平成21年3月23日設立

コミュニティ会長

松田 喜八郎

世帯数 …………… 3,848世帯
面積 …………… 10.26 km²



H23.11.30 現在

地区内の永源山公園には、国際交流広場のゆめ風車と、市制記念広場のモニュメントがあり、名所として親しまれています。永源山公園内の小高い丘に作られた、ゆめ風車。地区内のどこからでも、この風車を眺めることができます。風車内では、ビデオによる風車の説明や、オランダ製ストリートオルガンをはじめ、さまざまな資料を見ることができます。一方、水をテーマとしたモニュメントは、人間的な暖かみのあるフォルムの中に力強さと調和を基に発展する旧新南陽市のイメージを表わし、その活力を祈念したものです。



Pickup

富田西地区市民運動会

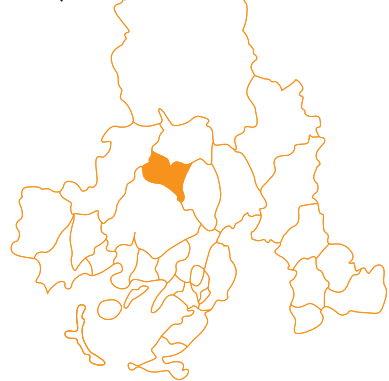
平均参加人数	1,500人
集客・PR方法	レク・スポ推進委員会と自治会が、チラシやプログラムを配布
関係団体	レク・スポ推進委員会、自治会、子ども会育成会、スポ少

- 特長・工夫**
- ・中学生によるボランティア活動の提供
 - ・親子共同運動会、特に主婦の力が参加促進



大道理地区

おおとうりちく



上・大高神山からの景色 下・魚切の滝

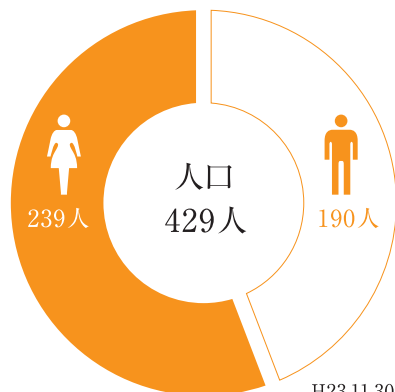
大道理をよくする会

コミュニティ会長

中村 俊道

昭和56年7月18日設立

世帯数 …………… 189世帯
面積 …………… 19.81 km²



H23.11.30 現在

新南陽駅から車で15分、標高約300m。周囲を周南コンビナートが一望できる、大高神山に代表される山々に囲まれ、春は棚田の芝桜、初夏には旭川を乱舞する自生ほたる等、近年は周南市の新たな癒しを体感できる観光スポットとして、静かなる脚光を浴びております。また、平成23年度より地域再生の一環として「大道理に住んでよかった」「訪れてみたくなる・住みたくなる大道理」をスローガンに地域が一つとなり活動を展開しております。

4

○芝桜まつり
○よくする会通常総会

5

6

○ほたる観賞の夕べ

7

○夏季道路一斉清掃
○魚切の滝整備

11

○ふるさと祭り

10

○地区福祉市民運動会

9

○月見会

8

○地区総合追悼盆踊り大会
○河川の一斉清掃

12

○魚切の滝整備
○道路の一斉清掃

1

○年頭登山
○新年会

2

○建国記念日記念行事
○魚切の滝記念行事

3

Pick up

Pickup

ほたる観賞の夕べ

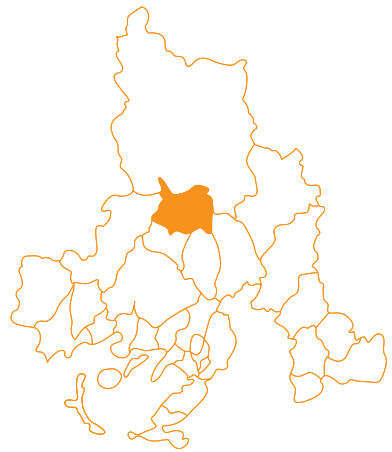
平均参加人数	3,500人
集客・PR方法	チラシを作成 行政広報及び地区民に配布
関係団体	地区住民

特長・工夫
来場者楽しんでいただく為に、年間を通じ、川や道などの環境保全につとめています。



大向地区

おおむかいちく



上・金峰山 下・向道湖

Pick up

- 4 ○向道湖祭り
- 5 ○錦川一斉清掃
- 6 ○花壇整備[6月・11月]
- 7 ○独居老人食事会
- 11 ○ふるさと祭り
- 10 ○運動会
- 9 ○敬老会
- 8 ○納涼夏祭り
- 12 ○独居老人食事サービス
- 1 ○どんど焼き
○年頭登山
○ふれあいの集い
- 2 [Icon: Box with wheat]
- 3 ○独居老人食事サービス

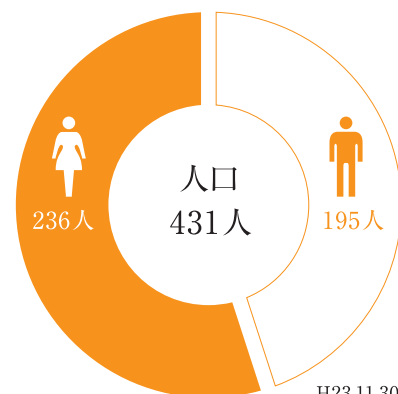
大向コミュニティ推進連絡協議会

昭和56年6月30日設立

コミュニティ会長

藤本 敏路

世帯数 201世帯
面積 14.86 km²



H23.11.30 現在

大向地区は周南市の中西部に位置し、向道湖・金峰山など、自然環境に恵まれています。コミュニティを中心とした地域活動は活発で、より一層の前進が期待されます。

金峰山

標高789.9m。もともとは修験道の行場として栄えた独立峰です。一の岳、二の岳、三の岳と3峰あり、それぞれ登山道があります。眼下に向道湖。360度の眺望が楽しめ、周囲の山々がきれいに見渡せます。

Pickup

向道湖祭り

平均参加人数 500人

集客・PR方法 チラシ配布、案内状

関係団体 周南市教育委員会、
財団法人 周南市体育協会、
向道湖観光協会

特長・工夫

昭和30年から開催し、今年で55回目を迎えました。毎年、11種目競技での入賞者には、表彰をしています。平成22年度から、雲海、棚田の見える林道を向道湖ウォークのコースとして新設し、好評を得ています。



鹿野地区

かのちく



上・弾正糸桜 下・潮音洞

- 4 ○長野山山開き
- 5 ○クリーンアップ作戦Ⅰ
- 6 ○花苗移植作業 (国体花いっぱい)
- 7 ○5周年記念式典・特別講演会
- 8 ○初盆供養・仮装盆踊り
- 9 ○鹿野地区敬老会 ○クリーンアップ作戦Ⅱ
- 10 ○かのふるさとまつり ○地区運動会・防災運動会
- 11 ○鹿野地区道徳文化推進大会
- 12 ○冬花火「銀嶺の舞」
- 1 ○新春ふれあい新年会
- 2 ○高齢者学級「子どもとのふれあい交流」
- 3 ○鹿野地区八十八ヶ所ウォーキング

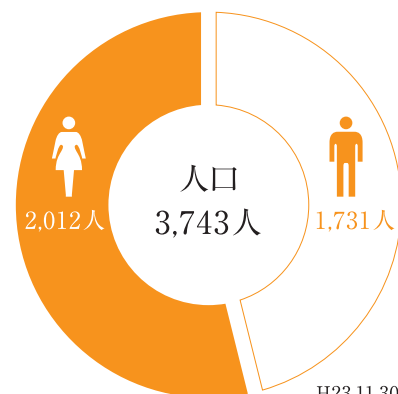
明るく元気な鹿野をつくる会

平成18年3月30日設立

コミュニティ会長

一原 英樹

世帯数 1,762世帯
面積 181.46 km²



H23.11.30 現在

鹿野地区は周南市の北部に位置する、豊かな水とみどりに囲まれた爽やかな清流のまちです。まちの中心部を流れる清流錦川にはホテルが舞い、夏には川遊びを楽しむ人たちが賑わいます。山々の緑も、季節の移り変わりとともにその表情を刻々と変え、私たちの心を和ませてくれます。また、潮音洞をはじめ、歴史を今に受け継ぐ貴重な文化遺産や、古くから伝えられてきた特色ある伝統芸能・行事も多数あり、地域の歴史・文化の継承に、地域ぐるみで積極的に取り組んでいます。

Pickup

クリーンアップ作戦

- 平均参加人数 100人
- 集客・PR方法 各種団体を通じた参加呼びかけ、新聞折込、防災無線を利用した案内
- 関係団体 青少年健全育成市民会議鹿野部会 その他各種団体
- 特長・工夫

地区住民自身による地域の環境美化活動として、鹿野地域で年2回実施しています。春と秋に開催しており、春は青少年健全育成市民会議鹿野部会主催、秋はコミュニティ主催により実施。郷土を愛する心を養う意味で、青少年健全育成にも資する活動となっています。



和田地区

わだちく



上・桜高瀬湖 下・津田恒美顕彰碑

Pick up

- 4 ○高瀬の旬をクィーン祭
- 5 ○総会
- 6 ○トワイライトフェスティバル
- 7 ○津田投手杯交流野球大会
- 11 ○ルーラル315・376フェスタ
- 10 ○和田地区総合まつり
- 9 ○和田地区敬老会
- 8 ○和田の里納涼夏祭り
- 12 ○三世代交流しめ縄作り
- 1 ○どんと焼き集会
○ご来光の集い
- 2 ○定例協議会
- 3 ○和田レクリエーション大会

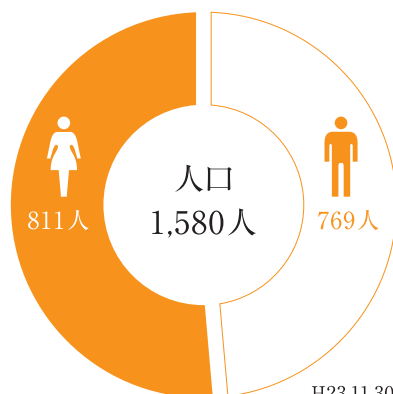
和田の里づくり推進協議会

平成19年6月22日設立

コミュニティ会長

池田 正和

世帯数 686世帯
面積 41.8 km²



H23.11.30 現在

和田地区は、南北に長い地形で佐波川の支流・島地川が流れています。お米をはじめお茶、野菜などの生産が盛んです。和田林業と呼ばれる林業もあります。特産品には、高瀬茶、高瀬味噌、こんにやくなどの農林産物を地元で加工販売するものがあります。

〔津田投手顕彰碑〕

彼の栄光と人柄、そしてその直球人生を地域の誇りとして、永遠に語り継いでいく為に、平成6年に募金活動により建立しました。

〔種田山頭火句碑〕

漂泊の俳人種田山頭火の妻咲野の生誕地に句碑を建立しました。

Pickup

高瀬の旬をクィーン祭

平均参加人数	2,500人
集客・PR方法	チラシ(和田地区全戸配布) 市内公共施設・マスコミ関係へチラシの配布 ラジオ、テレビでPR
関係団体	和田の里づくり推進協議会

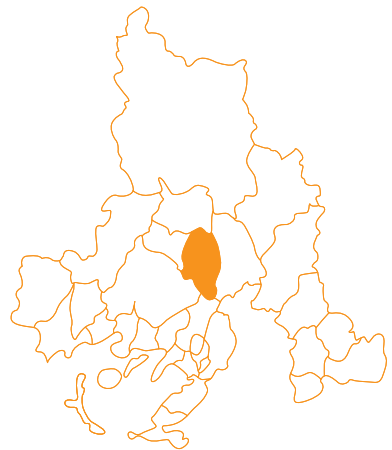
特長・工夫

地域の特徴を活かし、マンネリを防止する為、毎年違う内容を考えています。

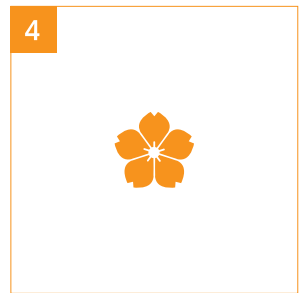


長穂地区

ながおちく



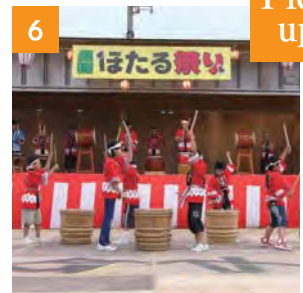
上・ほたるの塔 下・蒔地川



○総会
○歓送迎会



○花いっぱい運動



○ほたる祭り

Pick up



○泥んこ祭り



○産業文化祭



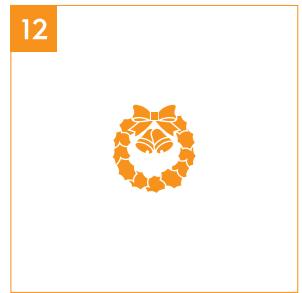
○地区合同運動会



○敬老会



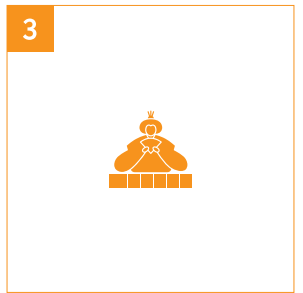
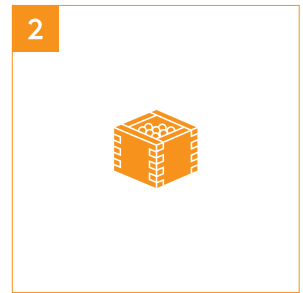
○盆踊り



○各種団体連絡協議会



○炭倉山年頭登山
○駅伝大会・どんど焼き



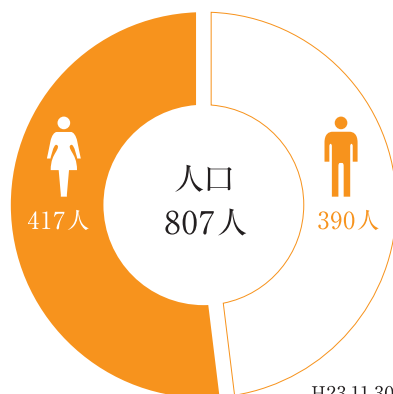
住みよい長穂をつくる協議会

昭和56年8月5日設立

コミュニティ会長

小野 武人

世帯数 344世帯
面積 15.6 km²



H23.11.30 現在

長穂地区では、自然の資源「ほたる」を生かしたまちづくりを進めており、地区内を通る国道315号線沿いには「ほたるの塔」が、蒔地川の入口には電柱の廃材で作った案内看板が立っています。また、ほたるの数を減らさないよう養殖事業にも取り組んでおり、秋には幼虫を川へ放流しています。毎年6月に行われる「長穂ほたる祭り」には市内外から3千人を超える方々が訪れます。

Pickup

長穂ほたる祭り

- 平均参加人数 4,000人
- 集客・PR方法 チラシ、HP、市・報道各社への情報提供
- 関係団体 長穂ほたる祭り実行委員会

- 特長・工夫
 - ・コミュニティ理事に各セクションの代表者を加えた実行委員会形式での運営



須々万地区

すすまぢく



上・大玉杉 下・山崎伊豆守興盛自刃の地

- 4 ○須々万地区歓送迎会
- 5 ○須々万地区まちづくり推進協議会総会
- 6 ○緑山ハイキング
- 7 ○須々万地区水と緑の一斉大奉仕作業
- 11 ○緑山ハイキング
- 10 ○ふれあい助けあいのまち須々万 in30
- 9 ○敬老会
- 8 ○ふれあい盆踊り&花火大会
- 12 ○びりりクリスマスイベント
- 1 ○凧揚げ&どんど焼き
- 2 ○周北武道大会
- 3 ○車イス贈呈式

Pick up

須々万地区まちづくり推進協議会

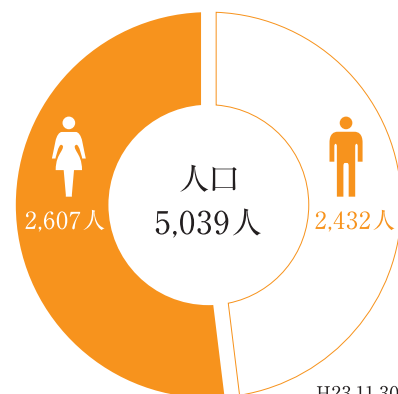
昭和56年8月2日設立

コミュニティ会長

小田 敏雄

世帯数 2,077世帯
面積 29.5 km²

市街地から車で15分ほどの山間部に位置し、標高300メートル程度で、冬には積雪があるなど、明確な四季を感じることができるまちです。また、近年は宅地開発が進み医療・福祉・教育・商業・下水などの生活基盤も整備され、定住型の若い家族が多い周南のベッドタウンとなっています。国の天然記念物「大玉杉」のある飛龍八幡宮をはじめ、沼城址などの史跡・名勝が多くあります。



Pickup

須々万地区ふれあい盆踊り&花火大会

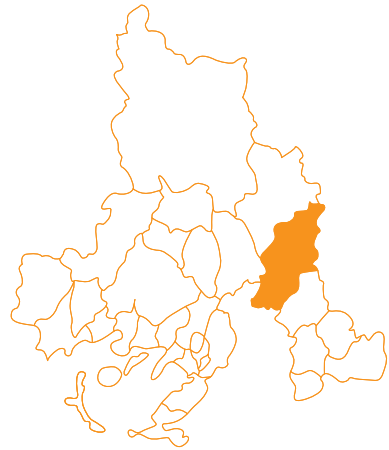
平均参加人数	2,000人
集客・PR方法	地区だより等のチラシ配布
関係団体	須々万地区まちづくり推進協議会、 須々万地区社会福祉協議会

特長・工夫
夏休みに帰省してきた須々万地区住民の関係者も楽しめるように配慮しています。



中須地区

なかずちく



上・棚田風景 下・久保神楽

- 4 ○戦没者追悼式
○コミュニティ講演会
- 5 ○こいのぼり設置
- 6 ○地区総合運動場 清掃・整備
○プランター植え替え
- 7 ○御田頭祭揉山
○やげん谷一里塚・菅野公園清掃・整備
- 8 ○追悼盆踊り大会
○中学校周辺清掃・整備
- 9 ○敬老会
○おだいし山道清掃・整備
- 10 ○市民運動会
- 11 ○なかず再発見!ハイキング
○産業文化祭
- 12 ○ツリーまつり
- 1 ○夜神楽のつどい
○おだいし山に登ろう会
- 2 ○菅野湖畔10マイルレース
- 3 ○久保神楽

中須をよりよくする会

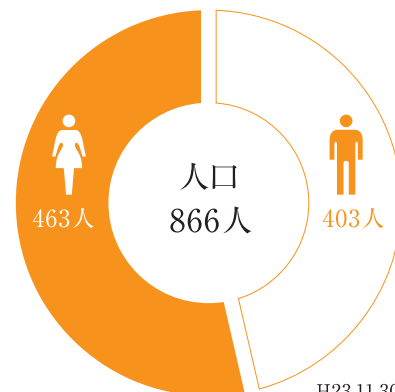
コミュニティ会長

松村 千昭

昭和57年2月11日設立

世帯数 421世帯

面積 37.3 km²



H23.11.30 現在

中須地区は、周南市北部の山間部に位置し、北部には、すり鉢状に棚田が広がっています。コミュニティが中心となって、生活している全ての人々が、互いに助けあい、支えあい、励ましあいながら快適で豊かな住みよい地域社会をつくるための活動を展開しています。また、文化・伝統芸能等の保存意識が強く、学校と地域が連携して中学校生徒による『戻路杖踊り』や地元有志による『久保神楽』等の保存継承活動が活発に行われています。

Pickup

中須地区産業文化祭

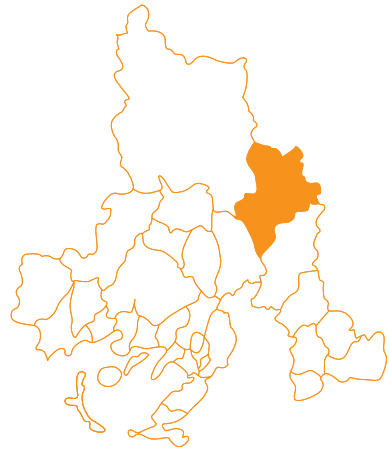
平均参加人数	1,500人
集客・PR方法	コミュニティ紙『ふれあい中須』に掲載・PRチラシの全戸配布・各報道機関へ周知
関係団体	産業文化祭実行委員会

特長・工夫
 ルーラルフェスタとの同時開催
 豚の炭火焼／棚田米等の試食コーナー／各種関係団体による食事コーナー／公民館講座生による作品展示・販売／伝統芸能久保神楽上演



須金地区

すがねちく



上・須万市の景観 下・須金フルーツランド



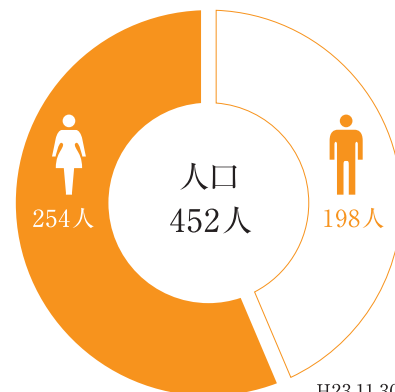
生きがいのある須金をつくる会

昭和56年9月30日設立

コミュニティ会長

内山 浩昭

世帯数 …………… 254世帯
面積 …………… 48.75 km²



H23.11.30 現在

須金は、豊かな自然に溢れ、悠久の歴史を持った、周南市北部に位置する地区です。毎年8月下旬から10月中旬には、須金フルーツランドが開園し、瑞々しい、なし・ぶどうを求め、県内外から多くの方が訪れます。近年、過疎化、高齢化が進み、地域生活の中で様々な問題が生じてきていますが、住民同士が協力し、特産加工品の開発や移住促進のための里の案内人の設置、ツーリズムの取組みなど、新たな挑戦も始まっています。

Pickup

須金なし・ぶどう祭

平均参加人数	2,000人
集客・PR方法	地区内各戸、市内北部地域及び岩国市広瀬へのチラシ配布、マスコミ報道 など
関係団体	地区内の団体全て

特長・工夫
一般参加できる、なし・ぶどうゲームや、なしの無料配布など、特産品を活用した地域活性化行事で、多くの地域住民が運営に携わっています。



都合のつくときに参加して！明るく！楽しく！がモットーです！！

ふるさと応援隊



結成 平成14年4月26日 **現隊長** 福原 和子 **現隊員数** 164名(平成23年7月1日現在)

目的 ふるさとづくりに関する情報収集・情報発信と隊員同士のネットワーク化を推進することで、より広い視点に立ったふるさとづくりの振興と地域の活性化を図ることを目的とする。



ふるさと応援隊のあゆみ

平成10～12年度

各地区の活動実践者を発掘【徳山市コミュニティ推進連絡協議会 若者参画事業】

平成13年度

各地区活動実践者を集め、ふるさとづくりに関する調査研究セミナーを徳山市ふるさと振興財団主催で開催。参加者の中から「せっかく集まった仲間だから討議だけでなく、コミュニティのために何かしていきたい」という提案が出た。

平成14年4月26日

ふるさと応援隊結成
手探りで各地区活動の応援・イベント開催・公共施設の修繕・勉強会等を実施
結成当時の隊員数28名

平成15年度～現在

主な活動【年間活動数 25～30回】

- ふるさと発見伝の開催(周南市市民交流センター周年イベント)
- 各地区活動の応援 大道理ホテル観賞の夕べ・久米ふるさと夏祭り・須金なしぶどう祭 他
- 毎月の定例会 ■コミュニティ推進連絡協議会事業への参加など

平成24年度

結成10周年

隊長

- ① 初代 山上哲也(結成～H17) ② 2代目 平元和幸(H18～H21) ③ 3代目 福原和子(H22～現在)



年間活動写真



主なスケジュール

- 4月 ふるさと産品の店“こあ”桜まつり応援総会(周南合併から一番近い金曜日)
- 5月 定例会Ⅰ(第3木曜日)
- 6月 大道理ホテル観賞の夕べ応援定例会Ⅱ(第3水曜日)
須金ホテル観賞会
- 7月 定例会Ⅲ(第3木曜日)
楠木2丁目ふれあい盆踊り大会応援
- 8月 久米地区ふれあい夏まつり応援定例会Ⅳ(第3水曜日)
元気！今宿夏祭り応援
須金なし・ぶどうまつり応援
- 9月 定例会Ⅴ(第3木曜日)

- 10月 桜木文化祭応援
定例会Ⅳ(第3水曜日)
ふるさと発見伝前日準備
ふるさと発見伝
- 11月 大道理ふるさとまつり応援
交流集会・事務局担当者研修会参加
定例会Ⅶ(第3木曜日)
- 12月 定例会Ⅷ&交流会(第3水曜日)
ふるさと産品の店“こあ”歳末市応援
- 1月 定例会Ⅷ(第3木曜日)
- 2月 定例会Ⅹ(第3水曜日)
若者参画事業参加
- 3月 定例会Ⅺ(第3木曜日)

財団法人 周南市ふるさと振興財団

結成 平成4年8月25日 現理事長 木村 健一郎

目的 市民自らが行う地域づくり活動の振興を図るため、調査、研究及び実践活動への支援、人材育成を通して活力のある個性豊かなふるさとづくりに寄与することを目的とする。

財団法人周南市ふるさと振興財団のあゆみ

- 平成4年8月25日 財団法人徳山市ふるさと振興財団設立
- 平成4年度 大津島ふれあいセンター受託
- 平成5年度 大田原自然の家・向道湖ふれあいの家受託
地場産品展示販売所「とくちゃん」開設(徳山駅ビル地下)
- 平成10年度 ふるさと情報発信基地「サイトス」開設(徳山駅ビル2階)
- 平成11年度 大津島ふれあいセンター内食堂「なぎさ」開設
「なぎさ」地区コミュニティへ移管
- 平成12年度 「とくちゃん」「サイトス」廃止(徳山駅ビル閉鎖)
- 平成13年度 地場産品展示販売所「ふるさと産品の店“こあ”」開設
市民交流センター受託
- 平成15年度 財団法人周南市ふるさと振興財団名称変更(周南合併)
- 平成17年度 第1期ふるさとづくり推進プラン・第1期経営改善計画策定
- 平成18年度 市民交流センター・大田原自然の家・向道湖ふれあいの家
大津島ふれあいセンター指定管理受託
- 平成19年度 周南市より周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局を移管
- 平成22年度 第2期ふるさとづくり推進プラン・第2期経営改善計画策定
- 平成24年度 設立20周年



主なコミュニティ推進事業



随時 コミュニティ情報の提供

ふるさとづくりの拠点施設 市民交流センター内においてコミュニティのホームページ コミュニティ情報局 周南に関する書籍・映像の収集等を行っています。

書籍 きさんの里・ふるさと櫛ヶ浜等 346冊
映像 動物園開園式・貴船祭り等 25本



2月～3月 先進地視察

若者参画事業と共催で2年に1回1泊でコミュニティに関する先進地を視察しています。

- H15 福岡市 市民活動団体によるまちおこし
- H17 広島市 街並み再発見によるまちおこし
- H19 福岡市 人づくりによるまちおこし
- H21 徳島県 葉っぱによるまちおこし



特色あるコミュニティ活動への支援

特色ある活動に対して、1団体10万円を2年間助成することとなっています。募集は、総会終了から1カ月で7月下旬に審査委員会を開催します。

- | | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| H20-21 | 遠石 久米 櫛浜 須金 | H21 | 湯野 |
| H21-22 | 桜木 | H22-23 | 周陽 大道理 |



周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局

協議会の事務局を運営しています。事業への支援や各地区の相談等にも対応しています。

事業 (コミュニティ関連事業除く)

- 市民活動(テーマ型)
 - 特色ある市民活動への助成金 1団体10万円
 - 市民活動講座の開催
- 都市と農産漁村の交流
 - 地場産品推進拠点施設の運営 ふるさと産品の店“こあ”
 - ふるさと朝市・夕市への支援
- 食農・食育
 - 食育体験プログラムの提供
 - 食農・食育体験農園
- その他
 - ふるさとかわら版の発行と探訪
 - ふるさと通信会員
 - ふるさと拠点施設の管理・運営
・周南市市民交流センター・周南市大田原自然の家・周南市向道湖ふれあいの家

各団体関連図

